

# 平成26年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査

## 調査結果の概要

平成27年9月

日本私立短期大学協会  
就職問題委員会



# 目 次

	頁
調査の概要	1
平成元年度～平成26年度における就職決定率の推移	3
卒業生の進路状況	4
就職決定者の状況	5
正規雇用率の推移	6
平成26年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果	
1 地域別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	8
2 分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	10
3 地域別・分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数	12
4 地域別の就職以外の進路者数	15
5 分野別の就職以外の進路者数	15
6 地域別・分野別の就職以外の進路者数	16
<b>* 企業・団体における地域別雇用形態の状況</b>	19
・企業・団体の正規雇用率の推移	20
・企業・団体の前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)	21
<b>* 幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況</b>	22
・幼稚園教諭の正規雇用率の推移	24
・幼稚園教諭の前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)	25
<b>* 保育士の地域別雇用形態の状況</b>	27
・保育士の正規雇用率の推移	29
・保育士の前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)	30
<b>* 栄養士の地域別雇用形態の状況</b>	31
・栄養士の正規雇用率の推移	33
・栄養士の前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)	34
<b>* 介護福祉士の地域別雇用形態の状況</b>	36
・介護福祉士の正規雇用率の推移	38
・介護福祉士の前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)	39

* その他の（国家資格・免許を必要とする）専門職の雇用形態の状況	41
・その他の専門職の前年度と比較して顕著な変化のあったもの（まとめ）	42
* 公務員の地域別雇用形態の状況	44
* 就職・採用活動時期の後ろ倒しについて（まとめ）	45

付・調査紙（縮小版）

- ・就職問題委員会委員一覧

## 調査の概要

### 1) 調査の目的

毎年度、日本私立短期大学協会に加盟の全会員短大を対象に卒業後の状況調査を実施することにより、地域別および分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数・就職以外の進路者数等について把握し、今後の私立短期大学におけるよりよい就職支援を模索するための基礎資料とする。

なお、短期大学卒業生の雇用形態の状況を把握するため、就職決定者の正規雇用、非正規雇用の具体的人数を調査し、その結果から、近年特に問題視されている労働条件、処遇等に対する喫緊の課題に取り組む資料とする。

また、自県内就職者数を調査することにより、地域に密着した短期大学の状況をより正確に把握するための資料としたい。

### 2) 調査対象

日本私立短期大学協会加盟の319短大のうち、第2部(夜間部)のみ設置の4短大および通信教育課程のみ設置短大1校を除く314短大の第1部(昼間部)学科。

### 3) 調査方法

郵送法。事務局より、調査用紙(表題「平成26年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査」)を各短大学長あて調査依頼状とともに発送し、回答を求めた。

### 4) 調査時期

平成27年5月1日～5月26日

### 5) 集計回答校数

集計回答校数は、314短大中、313短大。(回答率 99.7%)

(参考)	平成元年度卒業生	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
調査対象校	464	471	481	484	489
回答校数	405	410	431	454	467
回答率(%)	87.3	87.0	89.6	93.8	95.5
	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
調査対象校	491	488	490	485	484
回答校数	454	458	458	460	449
回答率(%)	92.5	93.9	93.5	94.8	92.8
	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
調査対象校	470	457	442	428	405
回答校数	447	435	414	406	402
回答率(%)	95.1	95.2	93.7	95.0	99.3
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
調査対象校	391	376	366	357	350
回答校数	386	368	360	327	326
回答率(%)	98.7	97.9	98.4	91.6	93.1
	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
調査対象校	342	336	331	325	320
回答校数	333	327	331	323	319
回答率(%)	97.4	97.3	100.0	99.4	99.7
	平成26年度				
調査対象校	314				
回答校数	313				
回答率(%)	99.7				

## 6) 集計件数

就職決定者の各集計件数は、下記の通り。

	企業・団体	公務員	幼稚園教諭	保育士	栄養士	介護福祉士	その他の 専門職
北海道	29	13	11	11	5	2	7
東北	35	7	18	18	9	5	7
関東	70	16	38	37	10	7	17
東京	57	16	14	10	9	3	9
中部	83	27	31	30	17	9	25
近畿	56	13	25	26	9	5	9
大阪	43	7	17	19	5	5	11
中国	37	9	14	15	8	2	5
四国	25	10	9	10	4	4	3
九州	80	9	30	30	16	10	23

## 7) 地域の分類

地域の表記については、本協会の支部の区分による下記 9 ブロックとする。

なお、各地域の当該県は次の通り。

### 北海道

東北 …青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

関東 …茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川、新潟、山梨

### 東京

中部 …富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重

近畿 …滋賀、京都、兵庫、奈良、和歌山

### 大阪

中四国 (中国)…鳥取、岡山、広島、山口 (四国)…徳島、香川、愛媛、高知

九州 …福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

## 8) 報告書作成にあたって

回答のあった調査票1および調査票2の集計について、調査票1は、コンピュータ集計により得られた結果を基に作表した。また、調査票2については、就職問題委員会委員により、各項目ごとに分担して記述内容を一覧にしたうえで、まとめを行った。

## 平成元年度～平成26年度卒業生における就職決定率の推移

当該年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
	平成2年3月卒	平成3年3月卒	平成4年3月卒	平成5年3月卒	平成6年3月卒
就職決定率	97.3	97.0	97.9	95.1	88.5

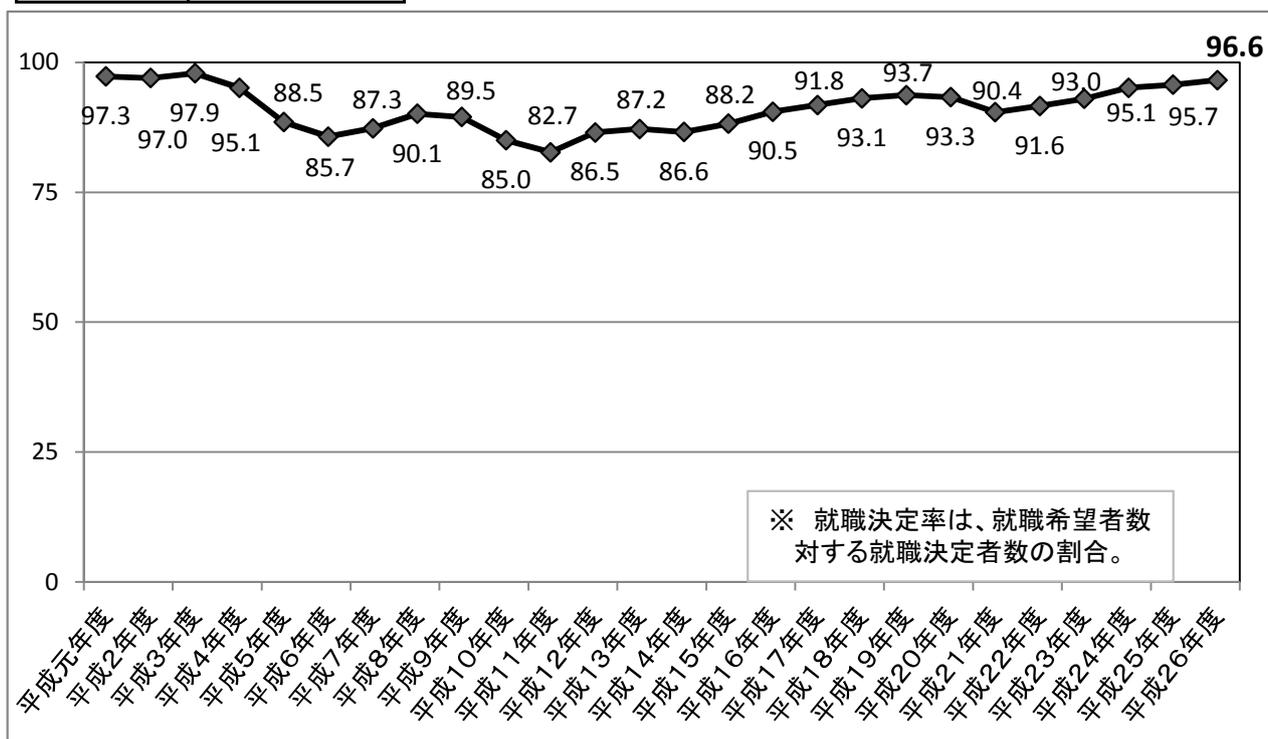
当該年度	平成6年度	平成7年度	平成8年度	平成9年度	平成10年度
	平成7年3月卒	平成8年3月卒	平成9年3月卒	平成10年3月卒	平成11年3月卒
就職決定率	85.7	87.3	90.1	89.5	85.0

当該年度	平成11年度	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
	平成12年3月卒	平成13年3月卒	平成14年3月卒	平成15年3月卒	平成16年3月卒
就職決定率	82.7	86.5	87.2	86.6	88.2

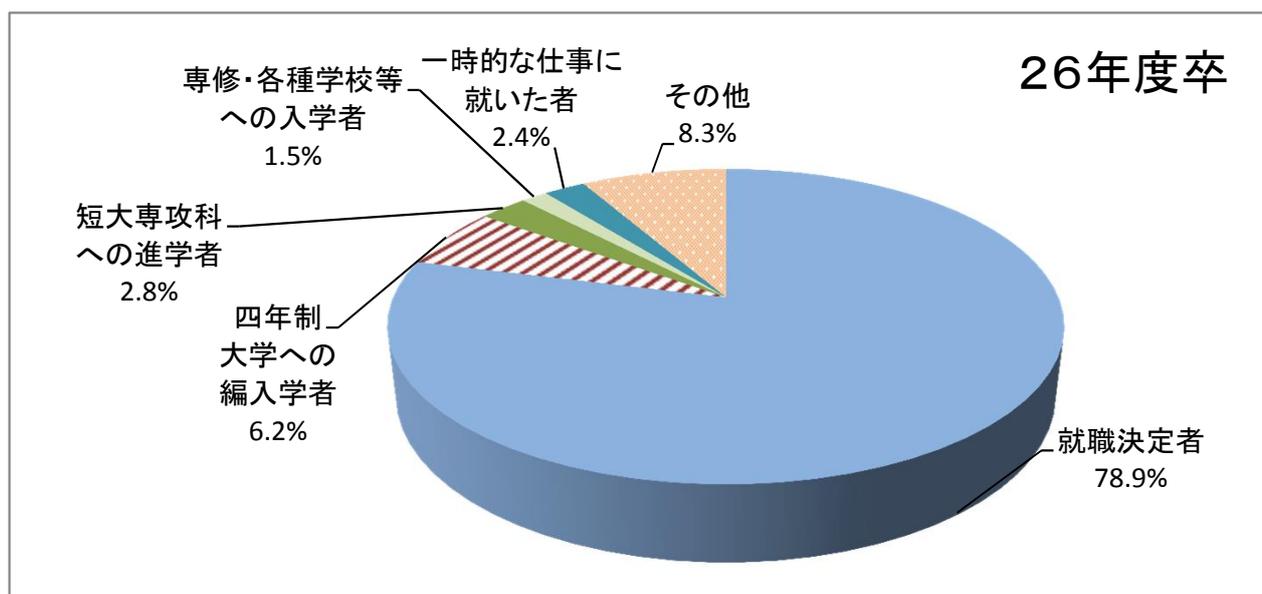
当該年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	平成17年3月卒	平成18年3月卒	平成19年3月卒	平成20年3月卒	平成21年3月卒
就職決定率	90.5	91.8	93.1	93.7	93.3

当該年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	平成22年3月卒	平成23年3月卒	平成24年3月卒	平成25年3月卒	平成26年3月卒
就職決定率	90.4	91.6	93.0	95.1	95.7

当該年度	平成26年度
	平成27年3月卒
就職決定率	96.6



## 卒業生の進路状況

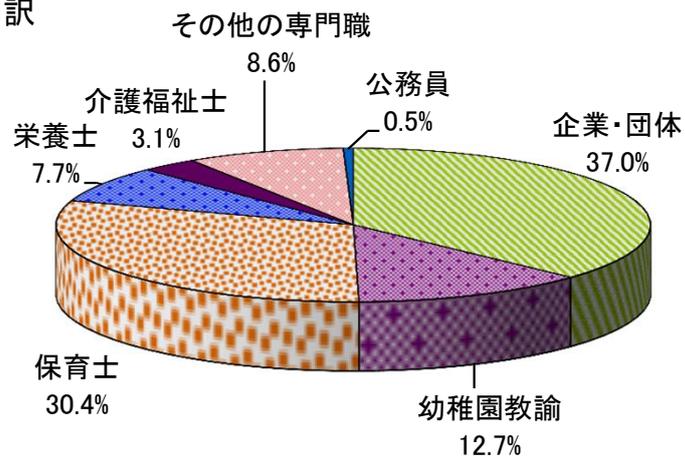


経年の割合	卒業生数	就職決定者	四年制大学への編入者	短大専攻科への進学者	大専攻科への進学者	専修・各種学校等への進学者	一時的な仕事に就いた者	その他
		(人)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)	(%)
26年度	54,370	42,896	3,359	1,504	815	1,283	4,513	(人)
	(100%)	78.9	6.2	2.8	1.5	2.4	8.3	(%)
25年度	(100%)	76.3	6.7	3.1	1.7	3.0	9.2	
24年度	(100%)	74.5	7.0	3.1	2.1	3.4	10.0	
23年度	(100%)	71.7	6.9	2.9	2.2	4.3	12.1	
22年度	(100%)	69.2	7.4	3.2	2.2	4.6	13.4	
21年度	(100%)	67.3	7.7	3.4	2.4	4.8	14.5	
20年度	(100%)	71.4	7.7	3.5	2.0	3.8	11.6	
19年度	(100%)	73.3	7.4	3.1	2.2	4.1	10.0	
18年度	(100%)	71.1	8.1	3.4	2.4	4.4	10.5	
17年度	(100%)	69.2	7.9	3.1	2.6	5.2	12.0	
16年度	(100%)	67.0	7.6	3.1	2.9	6.6	12.8	(%)
	89,947	60,249	6,813	2,760	2,608	5,963	11,554	(人)

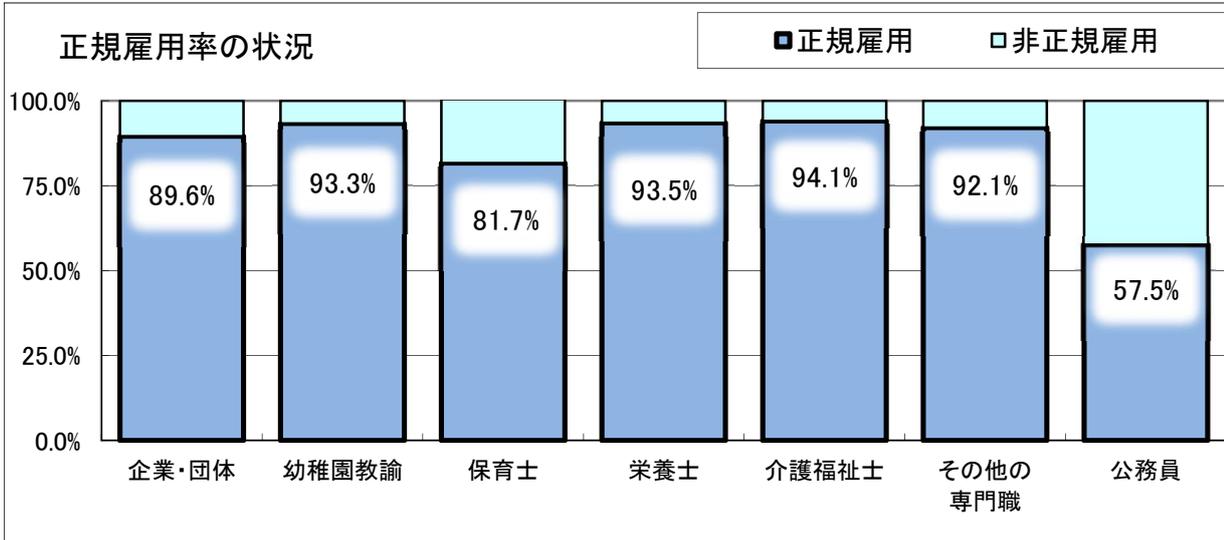
## 就職決定者の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
企業・団体	15,862	14,206	1,656	89.6%
幼稚園教諭	5,456	5,092	364	93.3%
保育士	13,037	10,646	2,391	81.7%
栄養士	3,283	3,068	215	93.5%
介護福祉士	1,331	1,252	79	94.1%
その他の専門職	3,694	3,404	290	92.1%
公務員	233	134	99	57.5%
計	42,896	37,802	5,094	88.1%

### 就職決定者の内訳

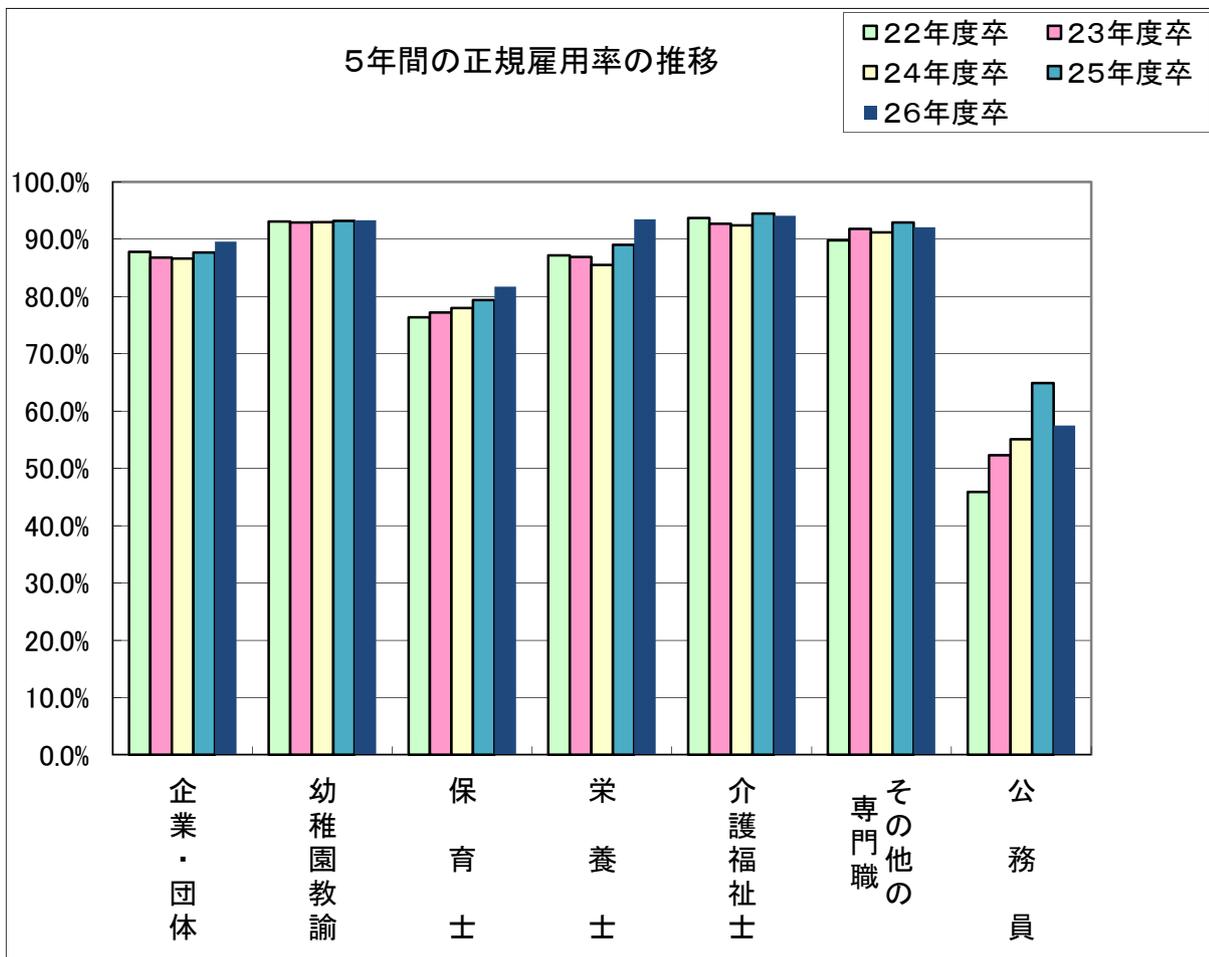


### 正規雇用率の状況



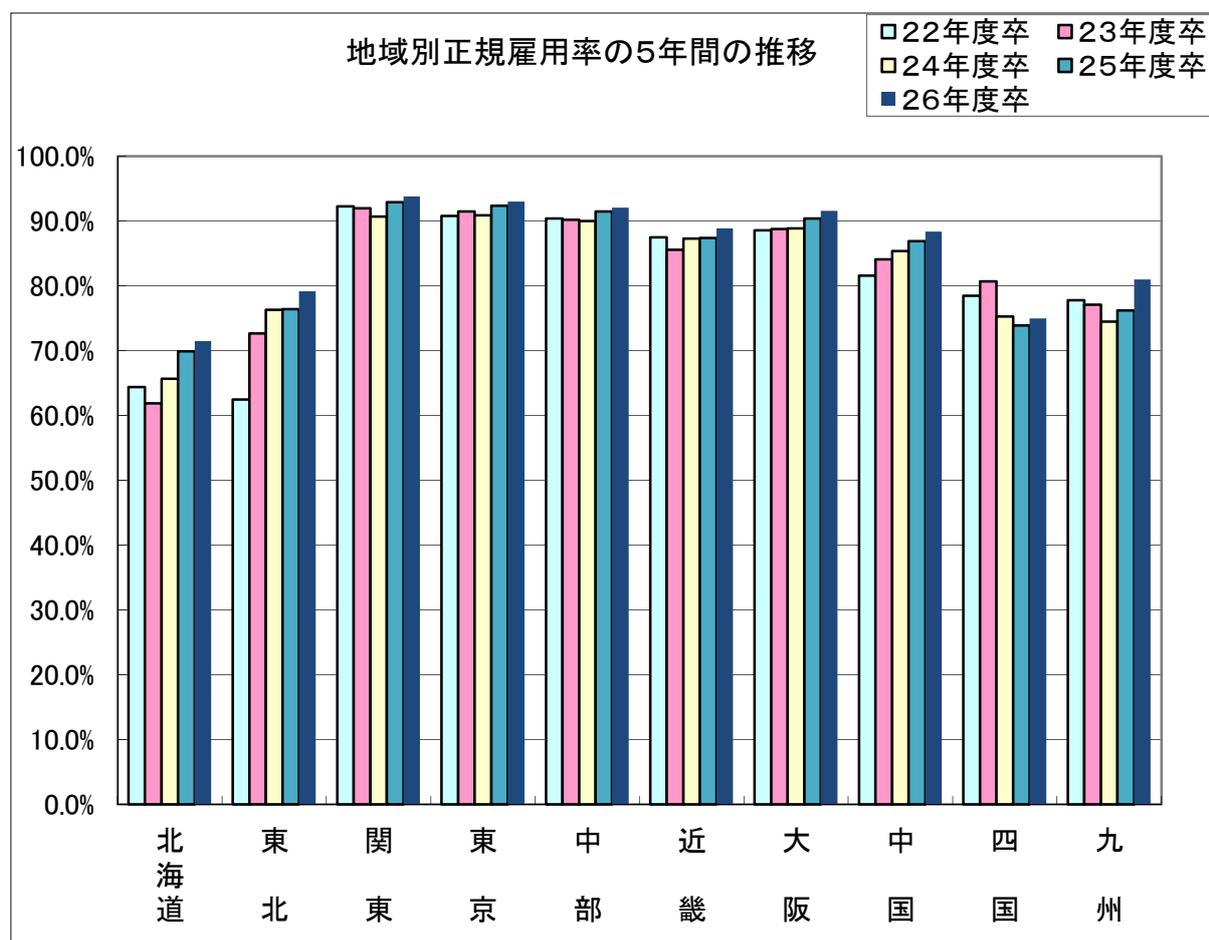
## 正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
企業・団体	87.8%	86.8%	86.6%	87.7%	89.6%
幼稚園教諭	93.1%	92.9%	93.0%	93.2%	93.3%
保育士	76.4%	77.2%	78.0%	79.4%	81.7%
栄養士	87.2%	86.9%	85.5%	89.0%	93.5%
介護福祉士	93.7%	92.7%	92.4%	94.5%	94.1%
その他の 専門職	89.8%	91.8%	91.2%	92.9%	92.1%
公務員	45.9%	52.3%	55.1%	64.9%	57.5%
計	85.2%	85.2%	85.1%	86.6%	88.1%



## 地域別正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
北海道	64.4%	61.9%	65.7%	69.9%	71.5%
東北	62.5%	72.7%	76.3%	76.4%	79.2%
関東	92.3%	92.0%	90.7%	92.9%	93.8%
東京	90.8%	91.5%	90.9%	92.4%	93.0%
中部	90.4%	90.2%	90.0%	91.5%	92.1%
近畿	87.5%	85.6%	87.3%	87.4%	88.9%
大阪	88.6%	88.8%	88.9%	90.4%	91.6%
中国	81.6%	84.1%	85.4%	86.9%	88.4%
四国	78.5%	80.7%	75.3%	73.9%	75.0%
九州	77.8%	77.1%	74.5%	76.2%	81.0%
全国	85.2%	85.2%	85.1%	86.6%	88.1%



## 平成26年度私立短大卒業生の卒業後の状況調査 集計結果

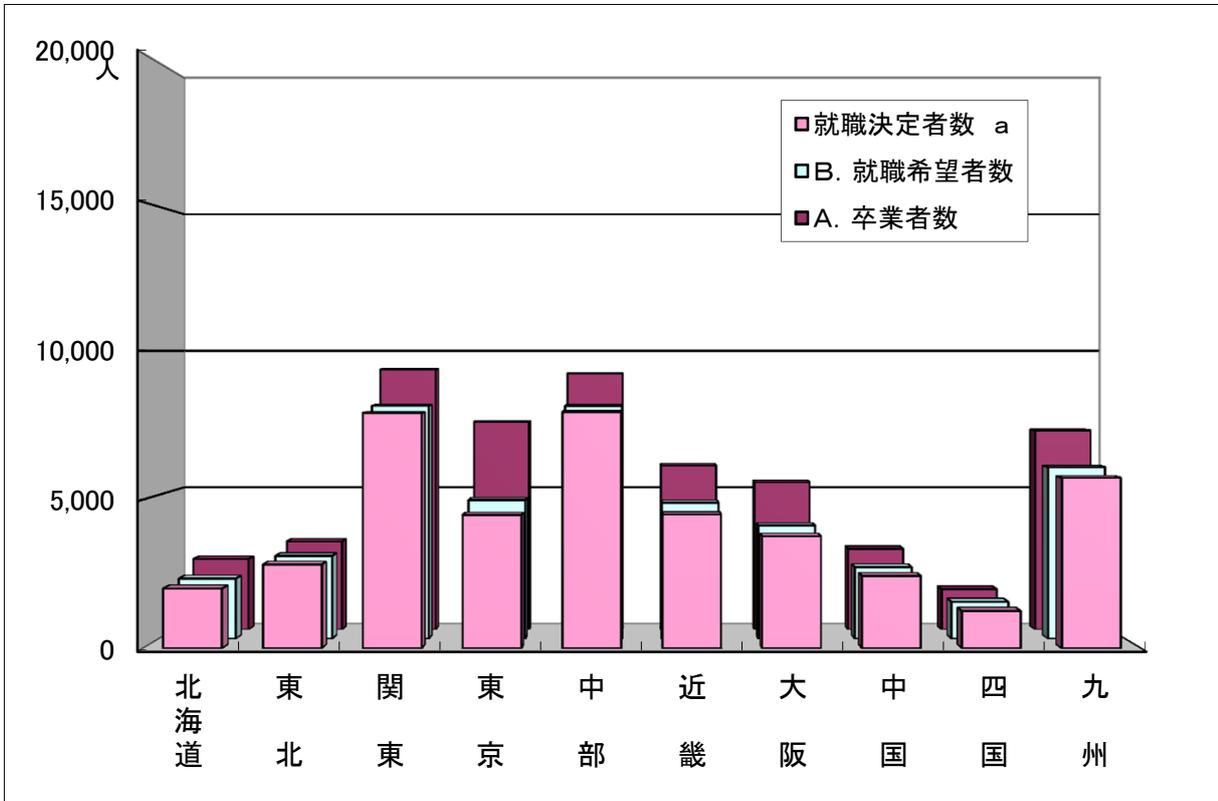
### 1 地域別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

	卒業者数 A	就職 希望者数 B	就職 決定者数 a	自県内 就職者数 c	就職希望率 B/A (%)	就職決定率 a/B (%)	就職者 の割合 a/A (%)	自県内 就職率 c/a (%)
全 国	54,370	44,383	42,896	31,916	81.6	96.6	78.9	74.4
北海道	2,539	2,094	2,016	1,863	82.5	96.3	79.4	92.4
東 北	3,168	2,880	2,824	2,090	90.9	98.1	89.1	74.0
関 東	9,334	8,095	7,912	5,645	86.7	97.7	84.8	71.3
東 京	7,454	4,817	4,482	2,673	64.6	93.0	60.1	59.6
中 部	9,190	8,091	7,950	6,550	88.0	98.3	86.5	82.4
近 畿	5,889	4,728	4,503	2,675	80.3	95.2	76.5	59.4
大 阪	5,294	3,937	3,773	2,884	74.4	95.8	71.3	76.4
中四国	4,357	3,776	3,700	2,894	86.7	98.0	84.9	78.2
中 国	2,903	2,491	2,441	1,823	85.8	98.0	84.1	74.7
四 国	1,454	1,285	1,259	1,071	88.4	98.0	86.6	85.1
九 州	7,145	5,965	5,736	4,642	83.5	96.2	80.3	80.9

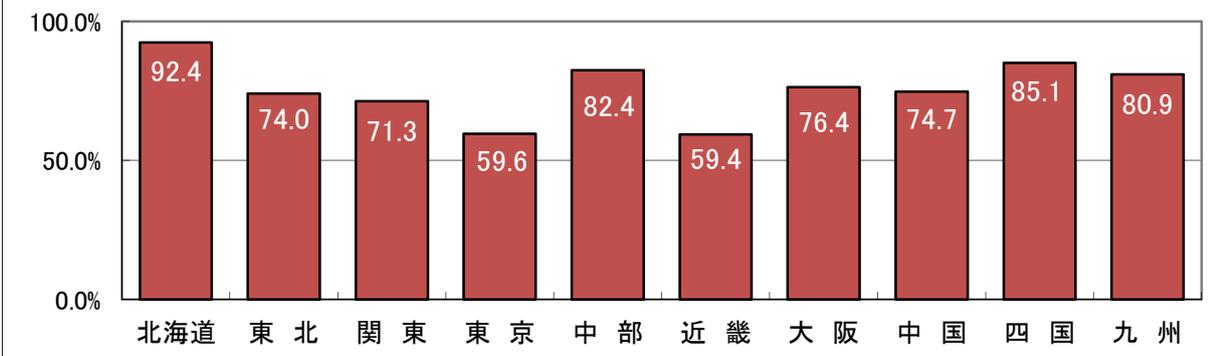
地域別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職 決定者数	正 規 雇用者数	非正規 雇用者数	正 規 雇用率
全 国	42,896	37,802	5,094	88.1%
北 海 道	2,016	1,442	574	71.5%
東 北	2,824	2,238	586	79.2%
関 東	7,912	7,424	488	93.8%
東 京	4,482	4,168	314	93.0%
中 部	7,950	7,321	629	92.1%
近 畿	4,503	4,005	498	88.9%
大 阪	3,773	3,457	316	91.6%
中 四 国	3,700	3,103	597	83.9%
中 国	2,441	2,159	282	88.4%
四 国	1,259	944	315	75.0%
九 州	5,736	4,644	1,092	81.0%

地域別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数



自県内就職率



地域別就職決定者の正規雇用率



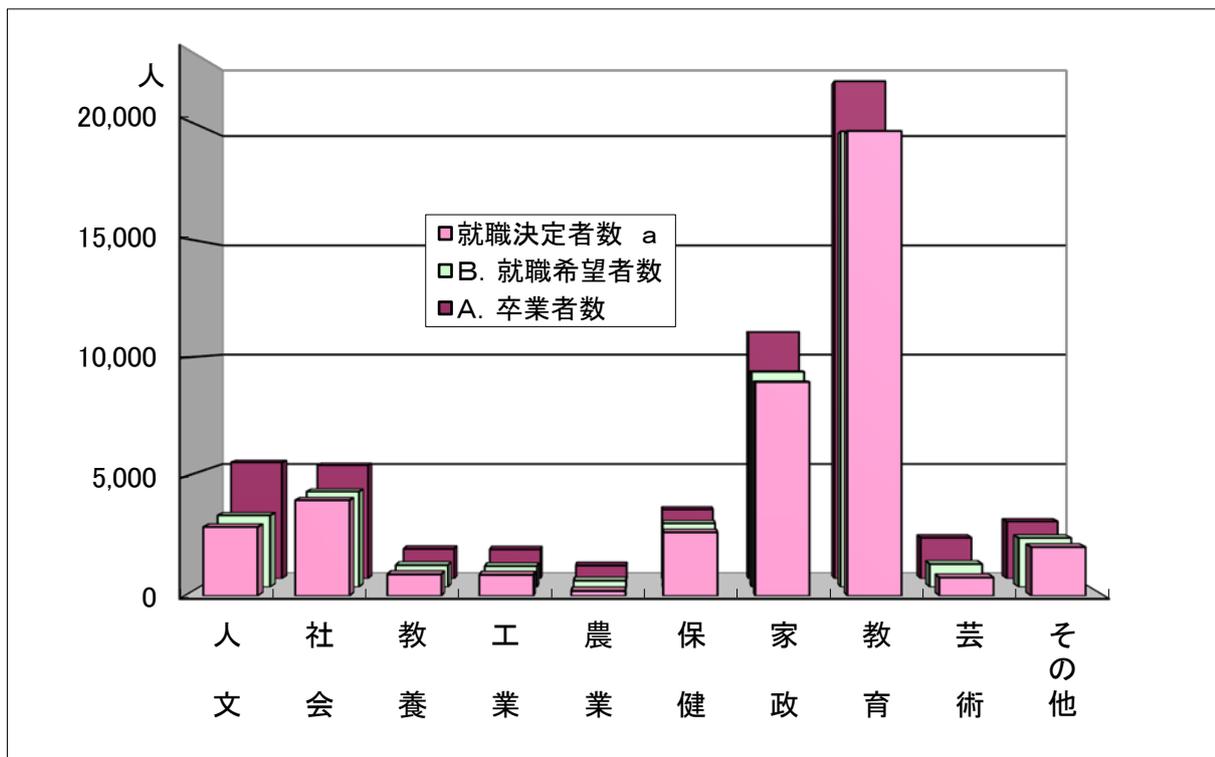
## 2 分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

	卒業者数 A	就職 希望者数 B	就職 決定者数 a	自県内 就職者数 c	就職希望率 B/A (%)	就職決定率 a/B (%)	就職者 の割合 a/A (%)	自県内 就職率 c/a (%)
全国	54,370	44,383	42,896	31,916	81.6	96.6	78.9	74.4
人文	5,214	3,113	2,899	1,802	59.7	93.1	55.6	62.2
社会	5,086	4,143	4,019	3,122	81.5	97.0	79.0	77.7
教養	1,336	952	906	782	71.3	95.2	67.8	86.3
工業	1,313	909	885	470	69.2	97.4	67.4	53.1
農業	594	277	212	103	46.6	76.5	35.7	48.6
保健	3,104	2,763	2,670	1,859	89.0	96.6	86.0	69.6
家政	11,045	9,333	8,973	6,638	84.5	96.1	81.2	74.0
教育	22,274	19,759	19,506	15,052	88.7	98.7	87.6	77.2
芸術	1,835	1,001	773	469	54.6	77.2	42.1	60.7
その他	2,569	2,133	2,053	1,619	83.0	96.2	79.9	78.9

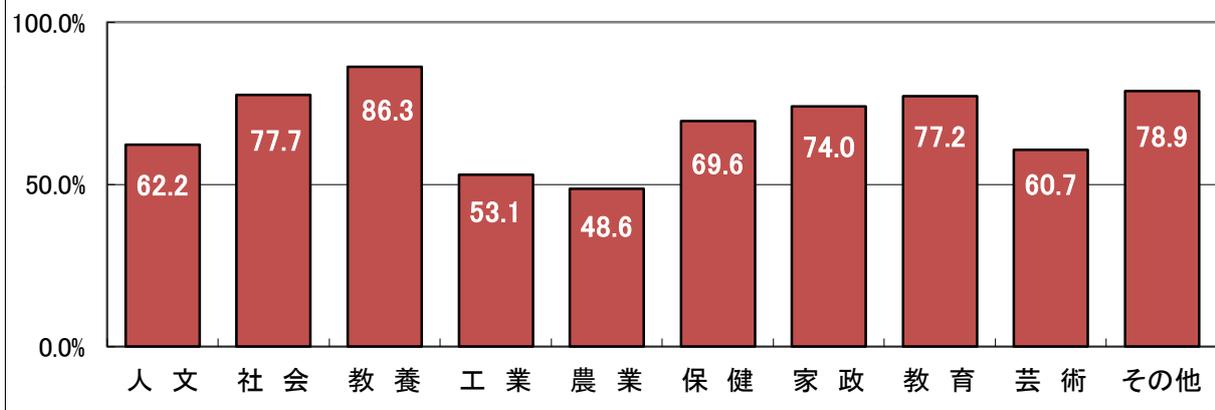
分野別就職決定者の雇用形態別内訳

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規雇用率
全国	42,896	37,802	5,094	88.1%
人文	2,899	2,508	391	86.5%
社会	4,019	3,735	284	92.9%
教養	906	790	116	87.2%
工業	885	880	5	99.4%
農業	212	206	6	97.2%
保健	2,670	2,618	52	98.1%
家政	8,973	8,140	833	90.7%
教育	19,506	16,403	3,103	84.1%
芸術	773	681	92	88.1%
その他	2,053	1,841	212	89.7%

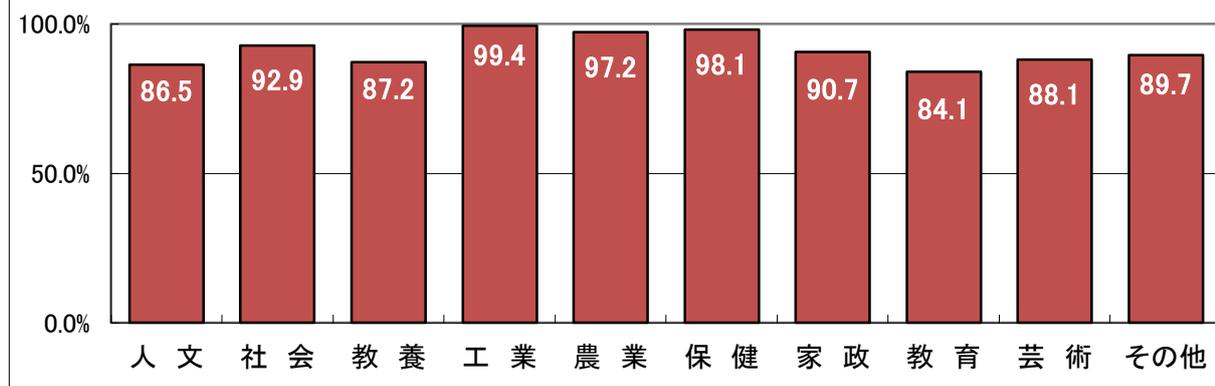
分野別の卒業生数・就職希望者数・就職決定者数



自県内就職率



分野別就職決定者の正規雇用率



### 3 地域別・分野別の卒業者数・就職希望者数・就職決定者数

地域	分野	卒業者数 A	就職希望者数 B	就職決定者数 a	自県内就職者数 c	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	自県内就職率 c/a	就職者の割合 a/A
北海道	人文	288	182	168	134	63.2	92.3	79.8	58.3
	社会	247	195	191	188	78.9	97.9	98.4	77.3
	教養	253	202	187	184	79.8	92.6	98.4	73.9
	工業	108	97	97	93	89.8	100.0	95.9	89.8
	農業	53	35	35	33	66.0	100.0	94.3	66.0
	家政	525	452	416	369	86.1	92.0	88.7	79.2
	教育	998	884	877	817	88.6	99.2	93.2	87.9
	その他	67	47	45	45	70.1	95.7	100.0	67.2
	小計	2,539	2,094	2,016	1,863	82.5	96.3	92.4	79.4
東北	人文	22	14	13	9	63.6	92.9	69.2	59.1
	社会	276	256	252	208	92.8	98.4	82.5	91.3
	教養	71	58	56	48	81.7	96.6	85.7	78.9
	保健	310	284	283	168	91.6	99.6	59.4	91.3
	家政	816	735	718	500	90.1	97.7	69.6	88.0
	教育	1,449	1,329	1,309	995	91.7	98.5	76.0	90.3
	芸術	8	6	6	6	75.0	100.0	100.0	75.0
	その他	216	198	187	156	91.7	94.4	83.4	86.6
	小計	3,168	2,880	2,824	2,090	90.9	98.1	74.0	89.1
関東	人文	778	472	437	180	60.7	92.6	41.2	56.2
	社会	1,201	997	976	615	83.0	97.9	63.0	81.3
	教養	90	83	78	72	92.2	94.0	92.3	86.7
	工業	184	177	171	133	96.2	96.6	77.8	92.9
	保健	679	626	614	481	92.2	98.1	78.3	90.4
	家政	957	841	819	518	87.9	97.4	63.2	85.6
	教育	4,547	4,220	4,165	3,158	92.8	98.7	75.8	91.6
	芸術	157	64	54	21	40.8	84.4	38.9	34.4
	その他	741	615	598	467	83.0	97.2	78.1	80.7
	小計	9,334	8,095	7,912	5,645	86.7	97.7	71.3	84.8

地域	分野	卒業者数 A	就職希望者数 B	就職決定者数 a	自県内就職者数 c	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	自県内就職率 c/a	就職者の割合 a/A
東京	人文	1,229	804	736	525	65.4	91.5	71.3	59.9
	社会	619	382	364	218	61.7	95.3	59.9	58.8
	教養	552	289	281	193	52.4	97.2	68.7	50.9
	工業	172	19	13	2	11.0	68.4	15.4	7.6
	農業	439	165	106	35	37.6	64.2	33.0	24.1
	保健	336	266	245	149	79.2	92.1	60.8	72.9
	家政	1,883	1,379	1,314	835	73.2	95.3	63.5	69.8
	教育	1,669	1,216	1,181	525	72.9	97.1	44.5	70.8
	芸術	555	297	242	191	53.5	81.5	78.9	43.6
	小計	7,454	4,817	4,482	2,673	64.6	93.0	59.6	60.1
中部	人文	577	421	400	333	73.0	95.0	83.3	69.3
	社会	1,249	1,099	1,085	1,004	88.0	98.7	92.5	86.9
	教養	84	75	66	60	89.3	88.0	90.9	78.6
	工業	406	328	325	111	80.8	99.1	34.2	80.0
	保健	739	696	681	472	94.2	97.8	69.3	92.2
	家政	1,903	1,701	1,669	1,369	89.4	98.1	82.0	87.7
	教育	3,555	3,223	3,205	2,795	90.7	99.4	87.2	90.2
	芸術	173	112	101	55	64.7	90.2	54.5	58.4
	その他	504	436	418	351	86.5	95.9	84.0	82.9
	小計	9,190	8,091	7,950	6,550	88.0	98.3	82.4	86.5
近畿	人文	706	464	448	199	65.7	96.6	44.4	63.5
	社会	392	250	239	114	63.8	95.6	47.7	61.0
	工業	195	153	148	56	78.5	96.7	37.8	75.9
	農業	28	28	28	7	100.0	100.0	25.0	100.0
	保健	59	57	55	46	96.6	96.5	83.6	93.2
	家政	1,478	1,186	1,115	669	80.2	94.0	60.0	75.4
	教育	2,533	2,200	2,175	1,425	86.9	98.9	65.5	85.9
	芸術	214	157	74	22	73.4	47.1	29.7	34.6
	その他	284	233	221	137	82.0	94.8	62.0	77.8
	小計	5,889	4,728	4,503	2,675	80.3	95.2	59.4	76.5

地域	分野	卒業者数 A	就職希望者数 B	就職決定者数 a	自県内就職者数 c	就職希望率 B/A	就職決定率 a/B	自県内就職率 c/a	就職者の割合 a/A
大阪	人文	1,035	352	323	179	34.0	91.8	55.4	31.2
	社会	332	293	277	228	88.3	94.5	82.3	83.4
	教養	32	28	28	27	87.5	100.0	96.4	87.5
	保健	477	422	415	296	88.5	98.3	71.3	87.0
	家政	821	720	675	538	87.7	93.8	79.7	82.2
	教育	1,970	1,760	1,743	1,432	89.3	99.0	82.2	88.5
	芸術	367	158	116	23	43.1	73.4	19.8	31.6
	その他	260	204	196	161	78.5	96.1	82.1	75.4
	小計	5,294	3,937	3,773	2,884	74.4	95.8	76.4	71.3
中 四 国	人文	74	63	60	41	85.1	95.2	68.3	81.1
	社会	409	373	361	313	91.2	96.8	86.7	88.3
	工業	123	93	91	57	75.6	97.8	62.6	74.0
	保健	417	343	340	212	82.3	99.1	62.4	81.5
	家政	1,059	923	894	747	87.2	96.9	83.6	84.4
	教育	2,026	1,834	1,826	1,415	90.5	99.6	77.5	90.1
	芸術	185	97	82	67	52.4	84.5	81.7	44.3
	その他	64	50	46	42	78.1	92.0	91.3	71.9
	小計	4,357	3,776	3,700	2,894	86.7	98.0	78.2	84.9
九 州	人文	505	341	314	202	67.5	92.1	64.3	62.2
	社会	361	298	274	234	82.5	91.9	85.4	75.9
	教養	254	217	210	198	85.4	96.8	94.3	82.7
	工業	125	42	40	18	33.6	95.2	45.0	32.0
	農業	74	49	43	28	66.2	87.8	65.1	58.1
	保健	87	69	37	35	79.3	53.6	94.6	42.5
	家政	1,603	1,396	1,353	1,093	87.1	96.9	80.8	84.4
	教育	3,527	3,093	3,025	2,490	87.7	97.8	82.3	85.8
	芸術	176	110	98	84	62.5	89.1	85.7	55.7
	その他	433	350	342	260	80.8	97.7	76.0	79.0
	小計	7,145	5,965	5,736	4,642	83.5	96.2	80.9	80.3
合 計	54,370	44,383	42,896	31,916	81.6	96.6	74.4	78.9	

#### 4 地域別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全 国	3,359	1,504	815	1,283	4,513	11,474
北海道	215	42	23	17	226	523
東 北	65	100	15	35	129	344
関 東	370	108	107	172	665	1,422
東 京	1,045	528	234	301	864	2,972
中 部	229	244	72	133	562	1,240
近 畿	445	114	101	242	484	1,386
大 阪	535	17	117	194	658	1,521
中四国	115	136	30	48	328	657
九 州	340	215	116	141	597	1,409

#### 5 分野別の就職以外の進路者数

	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
全 国	3,359	1,504	815	1,283	4,513	11,474
人 文	1,036	78	220	217	764	2,315
社 会	412	48	75	132	400	1,067
教 養	148	62	39	25	156	430
工 業	254	55	13	6	100	428
農 業	251	0	23	14	94	382
保 健	24	154	11	24	221	434
家 政	493	151	184	296	948	2,072
教 育	448	809	129	343	1,039	2,768
芸 術	167	144	82	138	531	1,062
その他	126	3	39	88	260	516

6 地域別・分野別の就職以外の進路者数

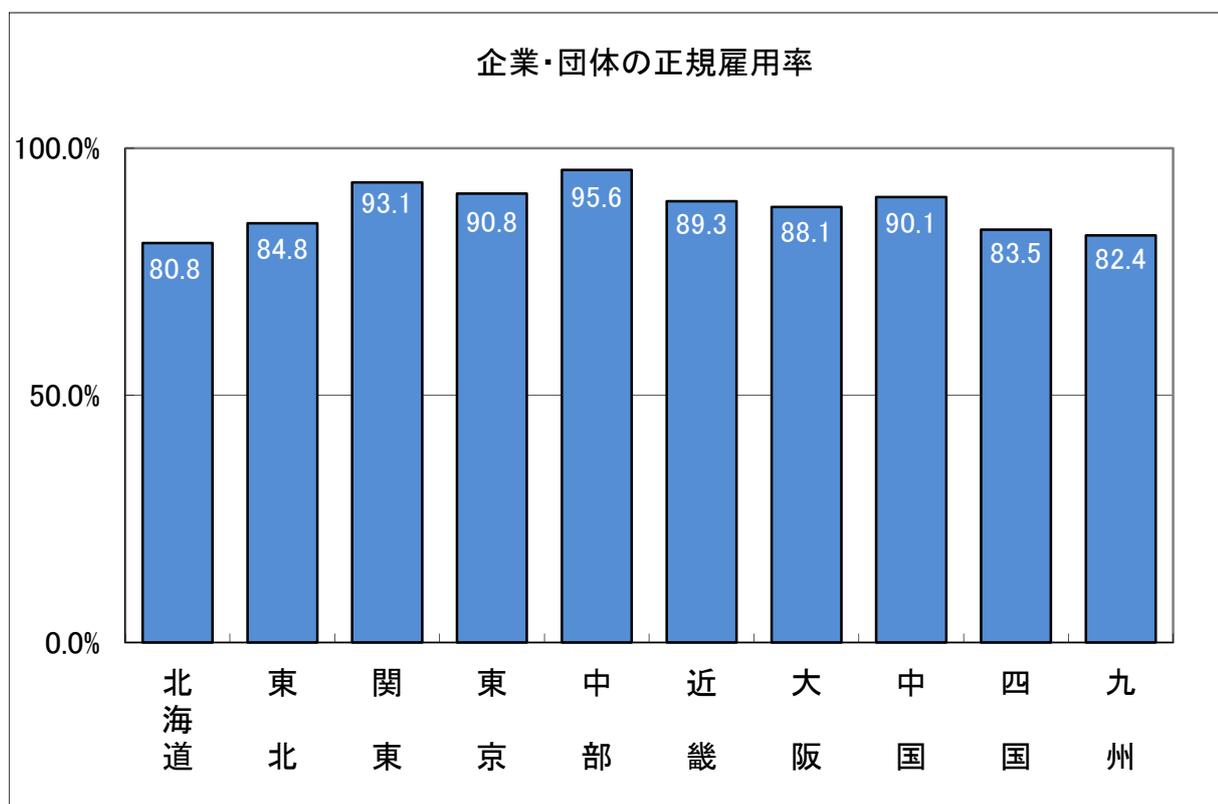
地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
北海道	人文	76	0	5	0	39	120
	社会	40	0	0	4	12	56
	教養	37	0	4	0	25	66
	工業	1	6	1	1	2	11
	農業	9	0	1	0	8	18
	家政	16	0	9	6	78	109
	教育	34	36	3	1	47	121
	その他	2	0	0	5	15	22
	小計	215	42	23	17	226	523
東北	人文	2	0	0	0	7	9
	社会	6	0	0	7	11	24
	教養	9	0	2	0	4	15
	保健	3	20	1	0	3	27
	家政	26	13	6	8	45	98
	教育	15	67	3	10	45	140
	芸術	1	0	0	0	1	2
	その他	3	0	3	10	13	29
	小計	65	100	15	35	129	344
関東	人文	165	0	35	36	105	341
	社会	56	23	12	23	111	225
	教養	1	0	1	3	7	12
	工業	1	3	0	0	9	13
	保健	2	24	2	0	37	65
	家政	27	8	14	32	57	138
	教育	48	46	24	51	213	382
	芸術	23	3	11	4	62	103
	その他	47	1	8	23	64	143
	小計	370	108	107	172	665	1,422

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
東京	人文	179	13	56	64	181	493
	社会	126	0	27	40	62	255
	教養	94	62	29	0	86	271
	工業	128	0	3	2	26	159
	農業	220	0	22	14	77	333
	保健	7	43	4	12	25	91
	家政	182	88	53	78	168	569
	教育	64	277	12	48	87	488
	芸術	45	45	28	43	152	313
	小計	1,045	528	234	301	864	2,972
中部	人文	51	8	8	25	85	177
	社会	32	25	12	23	72	164
	教養	2	0	0	4	12	18
	工業	25	34	0	0	22	81
	保健	2	15	3	3	35	58
	家政	33	18	19	33	131	234
	教育	58	127	20	37	108	350
	芸術	3	16	3	0	50	72
	その他	23	1	7	8	47	86
	小計	229	244	72	133	562	1,240
近畿	人文	105	57	20	12	64	258
	社会	97	0	9	19	28	153
	工業	31	0	0	2	14	47
	保健	1	0	0	0	3	4
	家政	91	7	39	73	153	363
	教育	106	21	24	94	113	358
	芸術	4	29	2	21	84	140
	その他	10	0	7	21	25	63
	小計	445	114	101	242	484	1,386

地域	分野	四年制大学への編入学者	短大専攻科への進学者	専修・各種学校等への入学者	一時的な仕事に就いた者	その他	合計
大阪	人文	410	0	75	47	180	712
	社会	9	0	4	10	32	55
	教養	0	0	1	2	1	4
	保健	3	1	0	4	54	62
	家政	11	0	8	26	101	146
	教育	37	5	8	26	151	227
	芸術	60	11	18	66	96	251
	その他	5	0	3	13	43	64
	小計	535	17	117	194	658	1,521
中 四 国	人文	1	0	1	3	9	14
	社会	10	0	1	3	34	48
	工業	5	12	3	0	12	32
	保健	6	33	1	5	32	77
	家政	31	11	7	15	101	165
	教育	39	59	10	20	72	200
	芸術	21	21	5	2	54	103
	その他	2	0	2	0	14	18
	小計	115	136	30	48	328	657
九 州	人文	47	0	20	30	94	191
	社会	36	0	10	3	38	87
	教養	5	0	2	16	21	44
	工業	63	0	6	1	15	85
	農業	22	0	0	0	9	31
	保健	0	18	0	0	32	50
	家政	76	6	29	25	114	250
	教育	47	171	25	56	203	502
	芸術	10	19	15	2	32	78
	その他	34	1	9	8	39	91
	小計	340	215	116	141	597	1,409
合計	3,359	1,504	815	1,283	4,513	11,474	

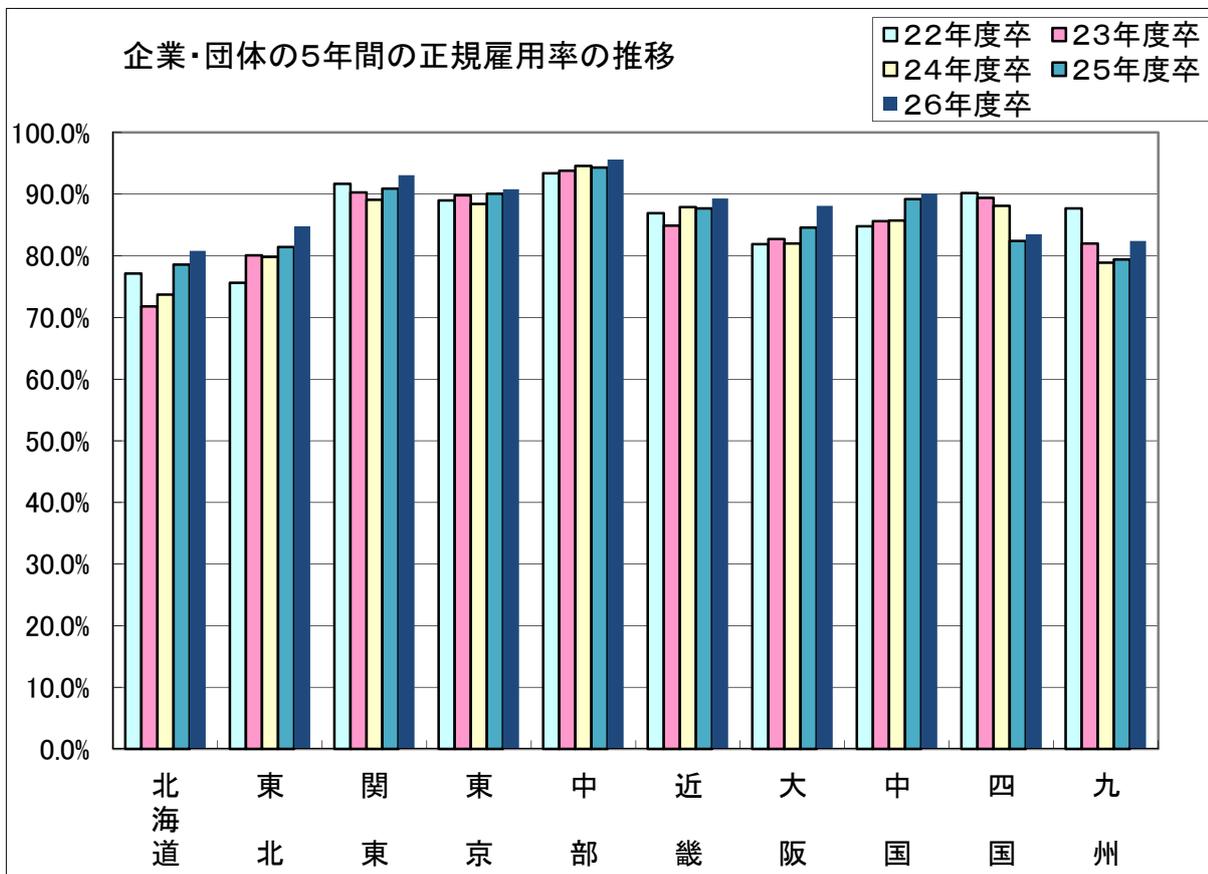
## 企業・団体における地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	15,862	14,206	1,656	89.6%
北海道	819	662	157	80.8%
東 北	691	586	105	84.8%
関 東	2,213	2,061	152	93.1%
東 京	2,509	2,278	231	90.8%
中 部	3,036	2,902	134	95.6%
近 畿	1,971	1,760	211	89.3%
大 阪	1,465	1,290	175	88.1%
中 国	776	699	77	90.1%
四 国	430	359	71	83.5%
九 州	1,952	1,609	343	82.4%



企業・団体の正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
北海道	77.1%	71.8%	73.7%	78.6%	80.8%
東北	75.6%	80.1%	79.8%	81.4%	84.8%
関東	91.7%	90.3%	89.1%	90.9%	93.1%
東京	89.0%	89.8%	88.4%	90.1%	90.8%
中部	93.4%	93.8%	94.6%	94.3%	95.6%
近畿	86.9%	84.9%	87.9%	87.7%	89.3%
大阪	81.9%	82.7%	82.0%	84.6%	88.1%
中国	84.8%	85.6%	85.7%	89.2%	90.1%
四国	90.2%	89.4%	88.1%	82.4%	83.5%
九州	87.7%	82.0%	78.9%	79.4%	82.4%
全国	87.8%	86.8%	86.6%	87.7%	89.6%



## 企業・団体の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容

記述があったのが106件。内訳はそれぞれ以下のとおりであった。(1校で複数選択有)

- ・学生の就労意識・・・41
- ・雇用形態・・・・・・・・25
- ・処遇・・・・・・・・4
- ・その他・・・・・・・・42

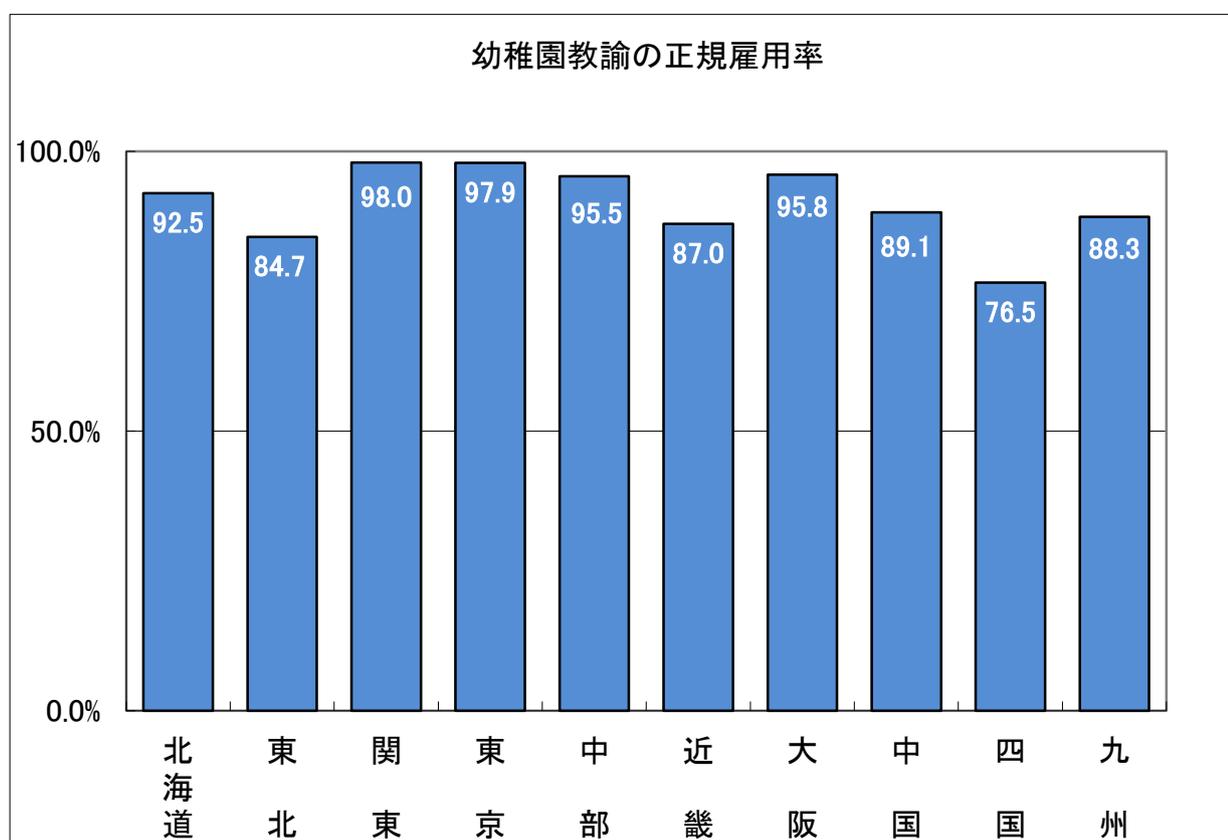
- 『学生の就労意識』については、肯定的な意見が約2割、否定的な意見が約5割、いずれとも言えない意見が約3割あった。景気の良さをチャンスと捉えた学生は意欲的に取り組み、逆に楽観視した学生は動きが鈍かったようである。依然として就職活動に対する学生の意欲が二極分化しており、景気の回復が必ずしも追い風となっているとは言えない。
- 『雇用形態』について、正規雇用が増加した学校と非正規雇用が増加した学校とに分かれた。ただし比率は3：1となっており、概ね条件は改善されているようである。
- 『処遇』について、正社員化や初任給アップを含めた賃金改正の兆しが表れ始めているとの意見があった。
- 『その他』では、求人数は増加し就職希望率も上がったが厳選採用は変わらず、就職活動は長期化した。また求人数は増えたものの、特定の業種・職種に限られているなど、全ての学生にとって状況が好転しているというわけではないようだ。

### ② 採用者側の対応に苦慮した内容

記述があったのが33件。最も多かったのが『募集要項と実際の勤務条件が異なる、もしくは不明確である』というもので5件あった。次に、『内定者研修後不採用になった』というものが3件。その他、選考のための長期間拘束が相変わらず指摘されている。それに加えて今回は、内定後にアルバイトやインターンシップを義務付けるなど、内定者の拘束をあげる記述が目立つ。中には、2年以内に退社した場合、入社前研修中に支給した金額を全額返還することを求める企業があり、その内容も多様化してきている。

幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	5,456	5,092	364	93.3%
北海道	294	272	22	92.5%
東 北	301	255	46	84.7%
関 東	1,577	1,546	31	98.0%
東 京	474	464	10	97.9%
中 部	803	767	36	95.5%
近 畿	494	430	64	87.0%
大 阪	455	436	19	95.8%
中 国	211	188	23	89.1%
四 国	115	88	27	76.5%
九 州	732	646	86	88.3%

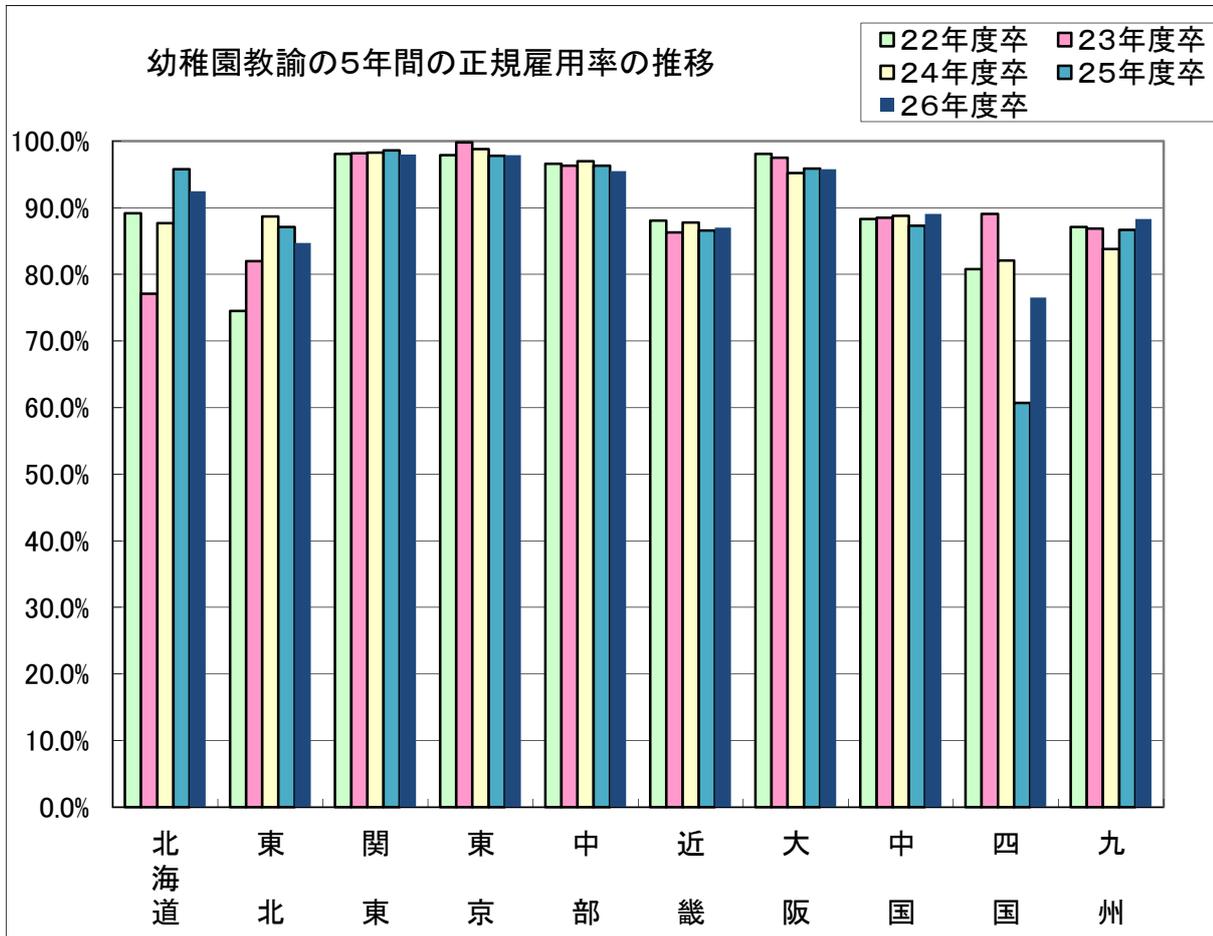


幼稚園教諭の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者数	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	私立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数
全 国	5,456	282	134	148	5,174	4,958	216
	100.0%	5.2%	2.5%	2.7%	94.8%	90.9%	4.0%
		100.0%	47.5%	52.5%	100.0%	95.8%	4.2%
北海道	294	2	2	0	292	270	22
	100.0%	0.7%	0.7%	0.0%	99.3%	91.8%	7.5%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	92.5%	7.5%
東 北	301	14	8	6	287	247	40
	100.0%	4.7%	2.7%	2.0%	95.3%	82.1%	13.3%
		100.0%	57.1%	42.9%	100.0%	86.1%	13.9%
関 東	1,577	39	22	17	1,538	1,524	14
	100.0%	2.5%	1.4%	1.1%	97.5%	96.6%	0.9%
		100.0%	56.4%	43.6%	100.0%	99.1%	0.9%
東 京	474	5	4	1	469	460	9
	100.0%	1.1%	0.8%	0.2%	98.9%	97.0%	1.9%
		100.0%	80.0%	20.0%	100.0%	98.1%	1.9%
中 部	803	53	30	23	750	737	13
	100.0%	6.6%	3.7%	2.9%	93.4%	91.8%	1.6%
		100.0%	56.6%	43.4%	100.0%	98.3%	1.7%
近 畿	494	53	22	31	441	408	33
	100.0%	10.7%	4.5%	6.3%	89.3%	82.6%	6.7%
		100.0%	41.5%	58.5%	100.0%	92.5%	7.5%
大 阪	455	13	2	11	442	434	8
	100.0%	2.9%	0.4%	2.4%	97.1%	95.4%	1.8%
		100.0%	15.4%	84.6%	100.0%	98.2%	1.8%
中 国	211	8	4	4	203	184	19
	100.0%	3.8%	1.9%	1.9%	96.2%	87.2%	9.0%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	90.6%	9.4%
四 国	115	49	36	13	66	52	14
	100.0%	42.6%	31.3%	11.3%	57.4%	45.2%	12.2%
		100.0%	73.5%	26.5%	100.0%	78.8%	21.2%
九 州	732	46	4	42	686	642	44
	100.0%	6.3%	0.5%	5.7%	93.7%	87.7%	6.0%
		100.0%	8.7%	91.3%	100.0%	93.6%	6.4%

## 幼稚園教諭の正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
北海道	89.2%	77.1%	87.7%	95.8%	92.5%
東北	74.5%	82.0%	88.7%	87.1%	84.7%
関東	98.1%	98.2%	98.3%	98.6%	98.0%
東京	97.9%	99.8%	98.8%	97.8%	97.9%
中部	96.6%	96.3%	97.0%	96.3%	95.5%
近畿	88.1%	86.3%	87.8%	86.6%	87.0%
大阪	98.1%	97.5%	95.2%	95.9%	95.8%
中国	88.3%	88.5%	88.8%	87.3%	89.1%
四国	80.8%	89.1%	82.1%	60.7%	76.5%
九州	87.1%	86.9%	83.8%	86.7%	88.3%
全国	93.1%	92.9%	93.0%	93.2%	93.3%



## 幼稚園教諭の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容について

#### ○求人について

子ども・子育て支援新制度が平成27年度より施行されたことを踏まえ、「認定こども園の増加に伴い求人数が増加した。」(11件)、「認定こども園での採用が増えた。」という記述が多く見られた。また、「幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を求められる園が増加傾向である」(8件)との報告があった。全体として、認定こども園も含めた幼稚園の求人は増加傾向であることが窺える。

#### ○学生の就労意識

学生の就労意識に関する記述は22件で、保育士に比べ幼稚園就職希望者は減少傾向であるとの記述が6件見られたが、一方で幼稚園就職希望者が増加したという記述も4件見られた。

例年、「自信が持てず一人担任を敬遠する」という記述が多く見られるが、本年度は2件しか見られず、「特技を生かして勤めたいという意識が高い」、「早期に動く学生が増加した」、「夢を叶える努力をしていた」などの記述があった。

なお、「仕事の厳しさを知り、民間企業への方向転換をした」との記述も見られた。

#### ○その他

求人数が増加しているにも関わらず、学生の希望者は減少している傾向からか、「求人に応募しなければこれからは就職を斡旋しないという園があった。」「私立幼稚園の合同の就職説明会が行われるようになった。／回数が増えた。」「実習など早期に求人数を確保する園が目立った。」などの記述があり、求人が早期化する傾向も見られるようである。

### ②雇用者側の対応に苦慮した事例

#### ○研修について

「内定後、講義があるにも関わらず研修を強制する。」「長期にわたる研修で疲弊してしまう学生がいた。」「有給／無給／保険加入等、園によって処遇が様々で短大に同意書を求められたケースもあった。」等、研修に関するものが6件あった。研修中に内定を辞退する学生の問題も挙げられていた。

#### ○不当な処遇について

「求人票の記載とは異なる処遇の問題(「長時間の勤務」「経営難のため賞与が支払えない」等)」、「内定を出したにも関わらず取り消された。」「パワハラ、不当解雇、残業代未払いの

問題」などの記述が数件見られた。内定後に、「車を購入しないと内定を取り消すと言われた」、「住居を決めるに際して相談しなかったことを責められた」など雇用者側のモラルの問題の他、求人票への処遇の記載が不明確なども問題として挙げられていた。

#### ○その他

##### ○求人数と応募者数のミスマッチ

求人依頼があるにも関わらず希望する学生がいなかったため対応に苦慮したとする記載が5件程見られた。

##### ○認定こども園移行に関して

「認定こども園からの採用通知では、幼稚園教諭採用なのか保育士採用なのかがわからなかった。」、「内定後にこども園になると言われた。」などの記載があった。

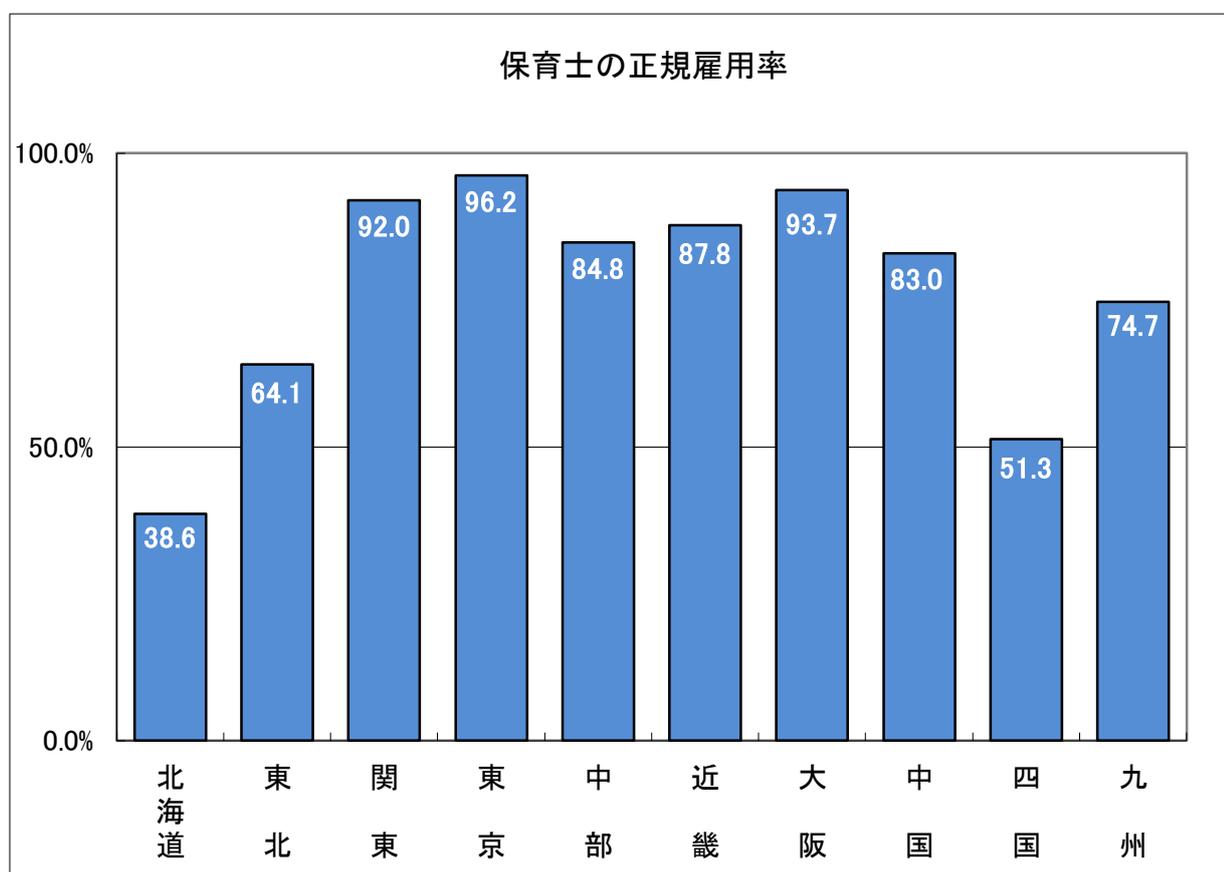
##### ○併願について

園側から単願を希望されているので、公務員やその他私立園などと併願してしまい対応に苦慮したなどが挙げられていた。

その他、就職関連の問題と「実習の受け入れ」を絡めて苦情を言われるケースも数件見受けられた。

保育士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	13,037	10,646	2,391	81.7%
北海道	533	206	327	38.6%
東 北	1,064	682	382	64.1%
関 東	2,697	2,480	217	92.0%
東 京	606	583	23	96.2%
中 部	2,094	1,776	318	84.8%
近 畿	1,544	1,356	188	87.8%
大 阪	1,172	1,098	74	93.7%
中 国	886	735	151	83.0%
四 国	398	204	194	51.3%
九 州	2,043	1,526	517	74.7%

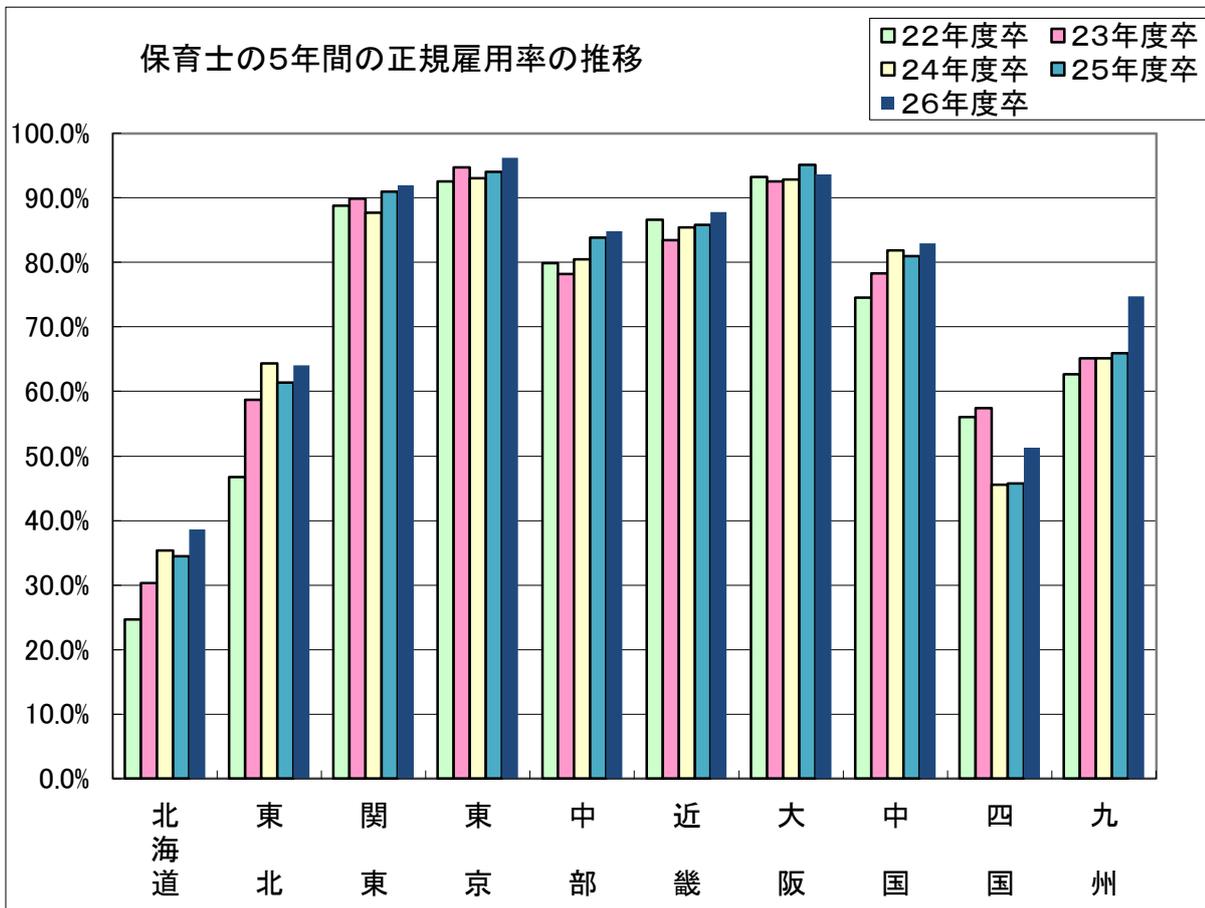


保育士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者数	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	私立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数
全 国	13,037	1,270	711	559	11,767	9,935	1,832
	100.0%	9.7%	5.5%	4.3%	90.3%	76.2%	14.1%
		100.0%	56.0%	44.0%	100.0%	84.4%	15.6%
北海道	533	41	31	10	492	175	317
	100.0%	7.7%	5.8%	1.9%	92.3%	32.8%	59.5%
		100.0%	75.6%	24.4%	100.0%	35.6%	64.4%
東 北	1,064	89	52	37	975	630	345
	100.0%	8.4%	4.9%	3.5%	91.6%	59.2%	32.4%
		100.0%	58.4%	41.6%	100.0%	64.6%	35.4%
関 東	2,697	224	142	82	2,473	2,338	135
	100.0%	8.3%	5.3%	3.0%	91.7%	86.7%	5.0%
		100.0%	63.4%	36.6%	100.0%	94.5%	5.5%
東 京	606	51	45	6	555	538	17
	100.0%	8.4%	7.4%	1.0%	91.6%	88.8%	2.8%
		100.0%	88.2%	11.8%	100.0%	96.9%	3.1%
中 部	2,094	503	304	199	1,591	1,472	119
	100.0%	24.0%	14.5%	9.5%	76.0%	70.3%	5.7%
		100.0%	60.4%	39.6%	100.0%	92.5%	7.5%
近 畿	1,544	91	38	53	1,453	1,318	135
	100.0%	5.9%	2.5%	3.4%	94.1%	85.4%	8.7%
		100.0%	41.8%	58.2%	100.0%	90.7%	9.3%
大 阪	1,172	42	14	28	1,130	1,084	46
	100.0%	3.6%	1.2%	2.4%	96.4%	92.5%	3.9%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	95.9%	4.1%
中 国	886	96	44	52	790	691	99
	100.0%	10.8%	5.0%	5.9%	89.2%	78.0%	11.2%
		100.0%	45.8%	54.2%	100.0%	87.5%	12.5%
四 国	398	78	21	57	320	183	137
	100.0%	19.6%	5.3%	14.3%	80.4%	46.0%	34.4%
		100.0%	26.9%	73.1%	100.0%	57.2%	42.8%
九 州	2,043	55	20	35	1,988	1,506	482
	100.0%	2.7%	1.0%	1.7%	97.0%	73.7%	23.6%
		100.0%	36.4%	63.6%	100.0%	75.8%	24.2%

## 保育士の正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
北海道	24.7%	30.3%	35.4%	34.5%	38.6%
東北	46.7%	58.7%	64.4%	61.4%	64.1%
関東	88.8%	89.9%	87.7%	91.0%	92.0%
東京	92.6%	94.7%	93.1%	94.0%	96.2%
中部	79.9%	78.2%	80.5%	83.9%	84.8%
近畿	86.6%	83.5%	85.4%	85.8%	87.8%
大阪	93.3%	92.6%	92.9%	95.1%	93.7%
中国	74.5%	78.3%	81.9%	81.0%	83.0%
四国	56.0%	57.4%	45.5%	45.7%	51.3%
九州	62.7%	65.1%	65.1%	65.9%	74.7%
全国	76.4%	77.2%	78.0%	79.4%	81.7%



## 保育士の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的内容の変化について

#### ○雇用形態（20件）

全体的に正規雇用の求人がわずかではあるが、増加しているという報告が多かった。

#### ○処遇（8件）

横浜市等の住宅支援給付事業で住宅手当が増額されたことにより、首都圏への就職者が増えたり、人材確保のために新設の保育園は給与や手当について他園よりも増額されているとの報告があった。

#### ○学生の就労意識（30件）

全体的に児童養護施設や企業内の託児所、小規模な保育園を希望する学生や専門職を希望せず、一般企業への就職を希望する学生が増加しているとの報告が多かった。

#### ○その他（求人に関して：39件，採用に関して：13件）

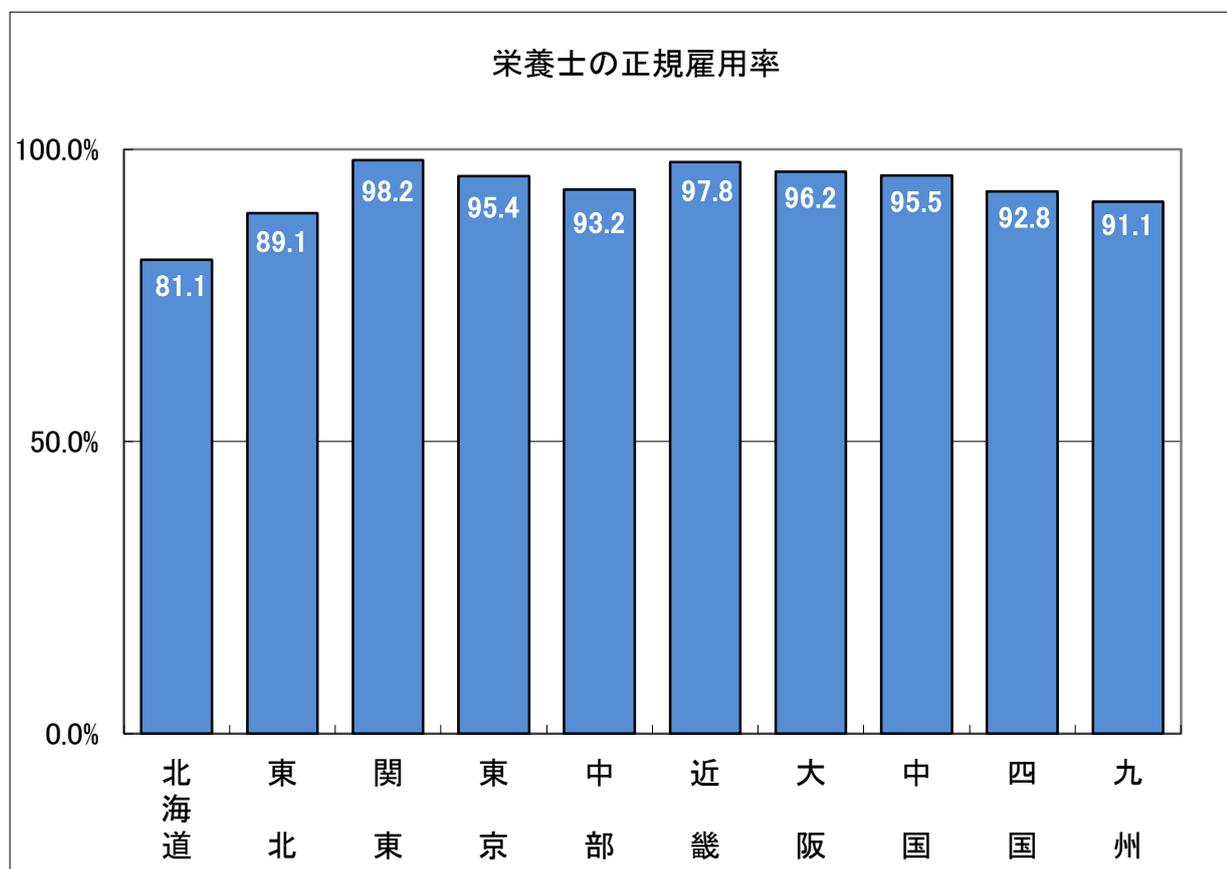
全体的に保育士の求人は増加しているようである。特に首都圏の企業立からの求人が増え、簡単な面接や実習により内定をだすという園があるとの報告があり、求人が年度末まで続いている状態にあるとの報告が多かった。また、首都圏の保育園の採用活動が毎年早いことから、地元の保育園からの求人・採用時期が昨年と比較して早まり、地元の認定こども園からの求人も増えているとの報告があった。

### ② 雇用者側の対応に苦慮した事例について（39件）

保育士の求人が全国的に増えたことにより、応じきれない事例が非常に多い。首都圏や学生が希望しない地域からの度重なる求人のための来訪者の対応に苦慮した事例も多く報告された。また、求人票に記載の待遇や雇用形態が不明瞭であったり、内定してから待遇面での変更を知らされる事例もあった。さらに、採用試験で平日に実習をおこなう園があり、授業への対応に苦慮している事例や、面接で家族の職業のことなどを聞かれるなど、例年通りの事例もあった。特に採用前の研修が長期化し、その間に疲弊してしまい、内定を辞退してしまう事例も報告された。

### 栄養士の地域別雇用形態の状況（１）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	3,283	3,068	215	93.5%
北海道	185	150	35	81.1%
東 北	248	221	27	89.1%
関 東	453	445	8	98.2%
東 京	458	437	21	95.4%
中 部	592	552	40	93.2%
近 畿	224	219	5	97.8%
大 阪	184	177	7	96.2%
中 国	222	212	10	95.5%
四 国	111	103	8	92.8%
九 州	606	552	54	91.1%

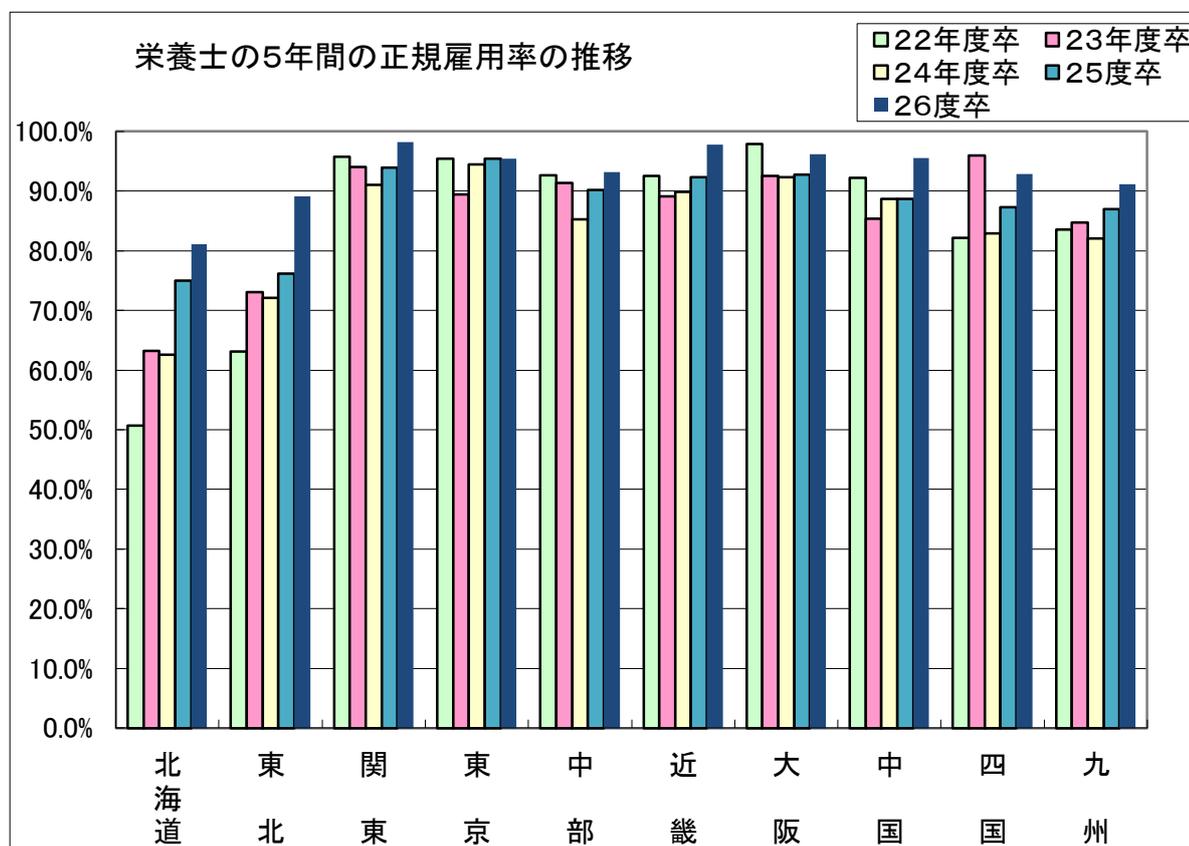


栄養士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者数	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	私立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数
全 国	3,283	21	3	18	3,262	3,065	197
	100.0%	0.6%	0.1%	0.5%	99.4%	93.4%	6.0%
		100.0%	14.3%	85.7%	100.0%	94.0%	6.0%
北海道	185	2	0	2	183	150	33
	100.0%	1.1%	0.0%	1.1%	98.9%	81.1%	17.8%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	82.0%	18.0%
東 北	248	2	0	2	246	221	25
	100.0%	0.8%	0.0%	0.8%	99.2%	89.1%	10.1%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	89.8%	10.2%
関 東	453	2	1	1	451	444	7
	100.0%	0.4%	0.2%	0.2%	99.6%	98.0%	1.5%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	98.4%	1.6%
東 京	458	6	1	5	452	436	16
	100.0%	1.3%	0.2%	1.1%	98.7%	95.2%	3.5%
		100.0%	16.7%	83.3%	100.0%	96.5%	3.5%
中 部	592	0			592	552	40
	100.0%				100.0%	93.2%	6.8%
					100.0%	93.2%	6.8%
近 畿	224	0			224	219	5
	100.0%				100.0%	97.8%	2.2%
					100.0%	97.8%	2.2%
大 阪	184	2	0	2	182	177	5
	100.0%	1.1%	0.0%	1.1%	98.9%	96.2%	2.7%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	97.3%	2.7%
中 国	222	2	1	1	220	211	9
	100.0%	0.9%	0.5%	0.5%	99.1%	95.0%	4.1%
		100.0%	50.0%	50.0%	100.0%	95.9%	4.1%
四 国	111	1	0	1	110	103	7
	100.0%	0.9%	0.0%	0.9%	99.1%	92.8%	6.3%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	93.6%	6.4%
九 州	606	4	0	4	602	552	50
	100.0%	0.7%	0.0%	0.7%	99.3%	91.1%	8.3%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	91.7%	8.3%

## 栄養士の正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25度卒	26度卒
北海道	50.7%	63.2%	62.6%	75.0%	81.1%
東北	63.1%	73.1%	72.1%	76.2%	89.1%
関東	95.7%	94.0%	91.0%	93.9%	98.2%
東京	95.4%	89.4%	94.5%	95.4%	95.4%
中部	92.6%	91.4%	85.3%	90.2%	93.2%
近畿	92.5%	89.1%	89.9%	92.3%	97.8%
大阪	97.9%	92.5%	92.3%	92.7%	96.2%
中国	92.2%	85.4%	88.7%	88.7%	95.5%
四国	82.1%	96.0%	82.9%	87.3%	92.8%
九州	83.5%	84.7%	82.0%	87.0%	91.1%
全国	87.2%	86.9%	85.5%	89.0%	93.5%



## 栄養士の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ① 具体的な変化の内容 —集計回答校数：45短期大学—

#### 1. 雇用形態について

全般的には、前年度に引き続き、平成24年度に改正された労働契約法（有期労働契約の無期労働契約への転換等ルールの整備）と景気回復による売り手市場の状況にあり、雇用側が早期に優秀な学生を採用しようと競争が益々活発化している。給食委託会社からの求人が前年に続いて増加し、契約採用等非正規採用が多かった雇用条件も正規採用に切り替えられるといった事例が多く見受けられた。年度終わりに向けても正規募集があり、配属地域においても本人の希望が配慮されるといった報告もあり、雇用拡大による就職環境の好転を示す報告事例が平成26年度は特に多かった。

#### 2. 処遇について

景気拡大による売り手市場の報告が目立ち、企業によって勤務状況の改善を図り、人材の確保に努める企業も出ているが、反面、2月に県外の配属を通知されたとの事例や、社員教育が無く現場は疲弊しているとの声もあり、企業の処遇の二極化が進んでいるといった現状が窺えた。

#### 3. 学生の就労意識について

平成25年度は栄養士の仕事に就いた学生が就職者の5割だったが、平成26年度は8割に増加したとの報告や、就職決定者の栄養士職の割合が前年の43.3%→46.7%へ伸びるといった事例もあり、学生の専門職志向が窺えた。その一方で、栄養士をパティシエなどと勘違いして入学する学生が年々増加気味で、就職指導で苦慮しているとの声も上がっている。最終的には栄養士としての就職は増えたが、就職活動する中で一般職も視野に入れる学生も多くなっており、景気好転で学生の選択肢が増えている模様。また、変形勤務を避け、交代のない直営施設を望む傾向は顕著で、保育園への就職希望も高い。単純に子どもが好きだからという理由に加え、病院などは早期勤務があるという学生側の本音も少なくなかった。

#### 4. その他

全体的に見ると、安定した景気回復により、企業側の採用意欲が旺盛になってきている。幼稚園や保育園に加えて、高齢者施設の増設も影響し、栄養士としての専門職への採用求人が増加傾向にある。また、選考においては面接回数を減少させ、優秀な学生を早期に決定させたいという雇用側の焦りも窺える。給食委託会社の求人意欲も年々高まっており、例年10月に行っていた委託会社だけの面接会を6月に行った結果、学校側では先決優先の指導を行っているため、直接契約の事業所との兼ね合いが難しくなったとの事例が報告されている。

## ② 雇用者側の対応に苦慮した事例について－集計回答校数：19短期大学－

### ○求人募集・採用選考時

例年は、短大生は契約雇用からと差別化がある、業務内容の割に雇用条件が悪く賃金が低い、介護職との線引きができていない事業所が今なお存在する、といった苦慮した事例が多かったが、景気拡大により平成26年度においては対応に苦慮したという報告数が減少している。しかし、保育園の栄養士は求人が遅いうえ、応募期間が短いことや、実質、単願となってしまう学生側に選択の自由が無いなど、例年と同じような報告は見受けられた。また、自動車免許の取得率が低いなか、車通勤が必要な施設からの求人も多いたとの報告や、病院・施設直営の栄養士を希望する学生が多いなかで、派遣栄養士や厨房内調理メインの栄養士の求人が増加してきているといった報告事例もあった。

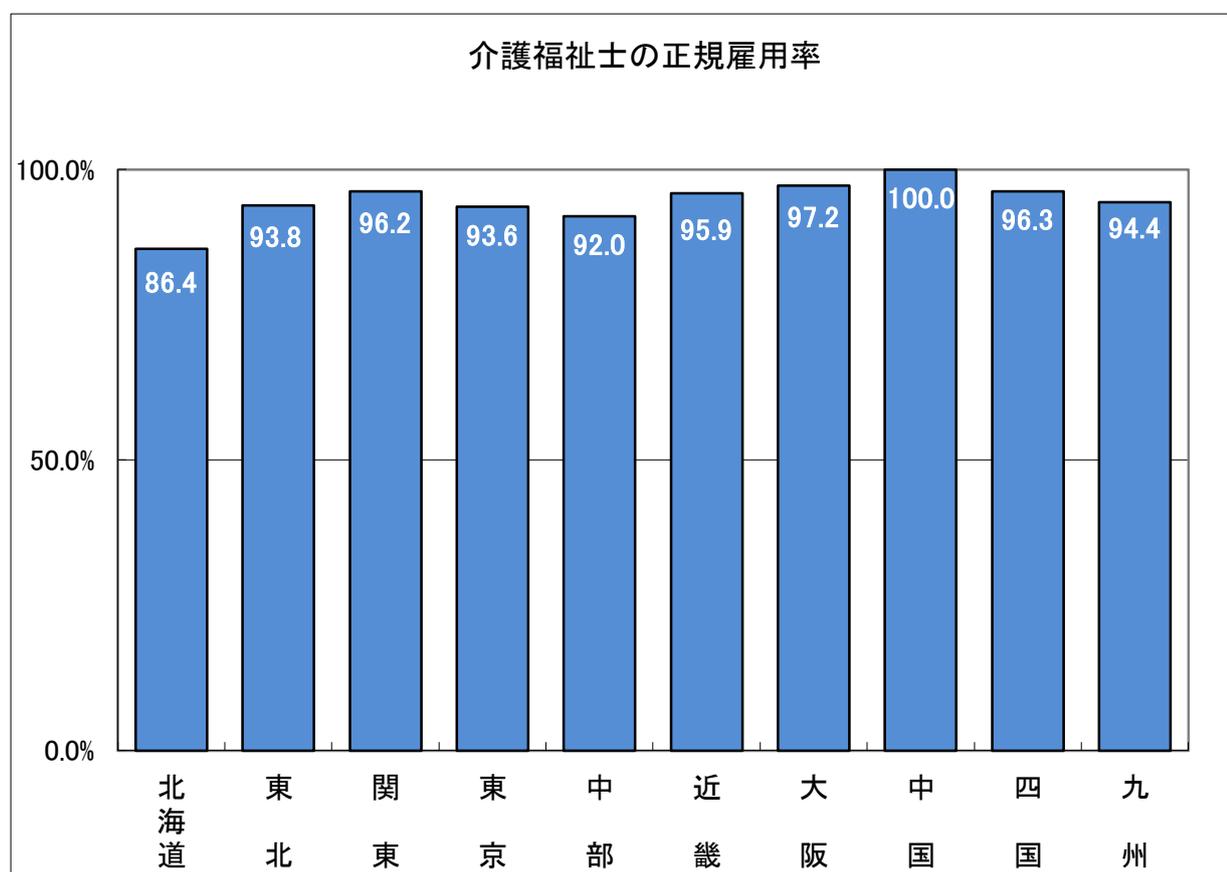
### ○内定時及び採用後

内定に関する事項としては、内定承諾書を出すまでの期間が短い企業が増えたとの報告や、希望勤務地を優先するとの説明で正社員に内定したが、2月に県外を通知され辞退した者、地元にこだわり契約社員に変更された者が出たとの報告事例もある。給食委託会社の内定時期と夏休み期間が重なり、学生の状況把握がしづらく、辞退した際に迷惑をかけてしまったとの事例もあった。

採用後に関する事項としては、給食委託会社に内定したが配属先の連絡が遅く、通勤に不安を持つ学生が多いとの報告や、満足に社員教育をしない給食委託会社が複数存在し、現場が疲弊しているとの報告事例も上がっており、採用後のミスマッチも深刻になってきている。

介護福祉士の地域別雇用形態の状況（1）

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
全 国	1,331	1,252	79	94.1%
北海道	44	38	6	86.4%
東 北	209	196	13	93.8%
関 東	157	151	6	96.2%
東 京	78	73	5	93.6%
中 部	349	321	28	92.0%
近 畿	97	93	4	95.9%
大 阪	71	69	2	97.2%
中 国	39	39	0	100.0%
四 国	54	52	2	96.3%
九 州	233	220	13	94.4%

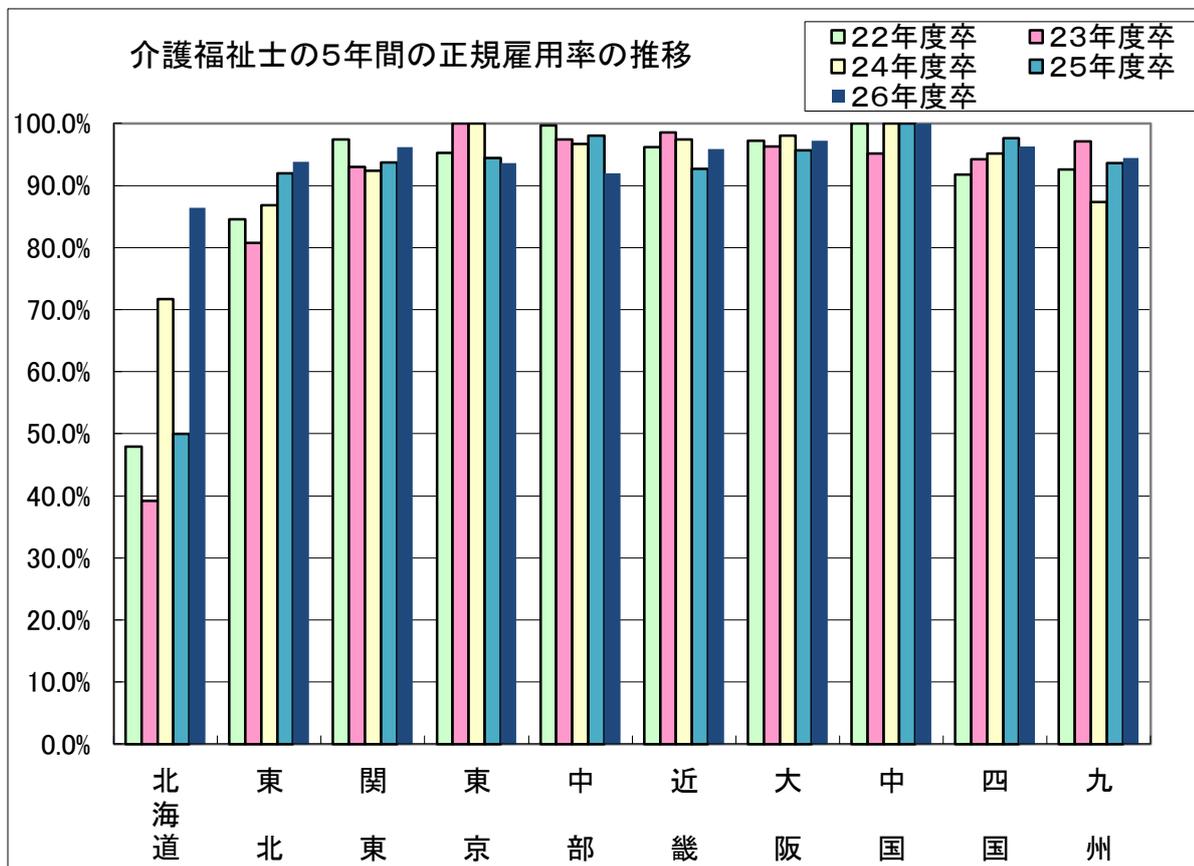


介護福祉士の地域別雇用形態の状況（２）

	就職 決定者数	公立			私立		
		公立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	私立計	正規 雇用者数	非正規 雇用者数
全 国	1,331	12	8	4	1,319	1,244	75
	100.0%	0.9%	0.6%	0.3%	99.1%	93.5%	5.6%
		100.0%	66.7%	33.3%	100.0%	94.3%	5.7%
北海道	44	3	3	0	41	35	6
	100.0%	6.8%	6.8%	0.0%	93.2%	79.5%	13.6%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	85.4%	14.6%
東 北	209	1	1	0	208	195	13
	100.0%	0.5%	0.5%	0.0%	99.5%	93.3%	6.2%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	93.8%	6.3%
関 東	157	0			157	151	6
	100.0%				100.0%	96.2%	3.8%
					100.0%	96.2%	3.8%
東 京	78	0			78	73	5
	100.0%				100.0%	93.6%	6.4%
					100.0%	93.6%	6.4%
中 部	349	3	1	2	346	320	26
	100.0%	0.9%	0.3%	0.6%	99.1%	91.7%	7.4%
		100.0%	33.3%	66.7%	100.0%	92.5%	7.5%
近 畿	97	0			97	93	4
	100.0%				100.0%	95.9%	4.1%
					100.0%	95.9%	4.1%
大 阪	71	0			71	69	2
	100.0%				100.0%	97.2%	2.8%
					100.0%	97.2%	2.8%
中 国	39	1	1	0	38	38	0
	100.0%	2.6%	2.6%	0.0%	97.4%	97.4%	0.0%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%
四 国	54	2	2	0	52	50	2
	100.0%	3.7%	3.7%	0.0%	96.3%	92.6%	3.7%
		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	96.2%	3.8%
九 州	233	2	0	2	231	220	11
	100.0%	0.9%	0.0%	0.9%	99.1%	94.4%	4.7%
		100.0%	0.0%	100.0%	100.0%	95.2%	4.8%

## 介護福祉士の正規雇用率の推移

	正規雇用率				
	22年度卒	23年度卒	24年度卒	25年度卒	26年度卒
北海道	47.9%	39.2%	71.7%	50.0%	86.4%
東北	84.5%	80.7%	86.8%	92.0%	93.8%
関東	97.4%	93.0%	92.4%	93.7%	96.2%
東京	95.2%	100.0%	100.0%	94.4%	93.6%
中部	99.7%	97.4%	96.7%	98.0%	92.0%
近畿	96.2%	98.5%	97.4%	92.7%	95.9%
大阪	97.2%	96.3%	98.0%	95.7%	97.2%
中国	100.0%	95.1%	100.0%	100.0%	100.0%
四国	91.7%	94.2%	95.1%	97.6%	96.3%
九州	92.6%	97.1%	87.3%	93.6%	94.4%
全国	93.7%	92.7%	92.4%	94.5%	94.1%



## 介護福祉士の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ①具体的な変化の内容のまとめ

27件の報告のうち、求人状況に関する報告が半数以上で、その内容は、ほぼ求人増についてであった。その他は、雇用形態や処遇が改善されつつあることが報告されている。

求人が多いことについては、その背景に現場での深刻な人材不足があり、需要と供給のバランスが大きく崩れている結果であることがその大きな理由であろうと考えられる。介護問題は、我が国が直面している大変大きな課題であり、適正な人材供給がなされていない現状は一刻も早く解消すべく、国をはじめ関係各機関の将来を見据えた有効な取り組みをなお一層求めるものである。

処遇改善については、平成23年度以降、介護職員の給与加算という具体的な政策がとられてきており、少しずつ改善されていることがわかる。また、今年度の介護保険改正により不足している介護職員の確保とその待遇改善が行われることとなったことで、雇用条件も良い方向に進んでいくことが考えられる。

ただし、介護職員に対する加算額は、事業者が国の定めた要件をどの様に満たしているかによって、12,000円・13,500円・15,000円・27,000円の4区分があり、全ての介護職員の賃金が一律に引き上げられるものではないことには注意しなければならない。また、この加算は介護職員限定であり、事務職員等は対象外である。更に介護報酬の見直しによって、多くの介護事業所が収入減となることが予想されており、今年度の採用に対する影響が懸念される場所である。

### ②雇用者側の対応に苦慮した事例のまとめ

5件のみの報告であるため、苦慮した事例はほとんどなかったと考えられる。その中でも入学者数の減少に伴う人材供給の問題が複数報告されていた。

### ③福祉系学科への入学志願者状況の変化についてのまとめ

28件の報告のうち、その全てから減少という報告であった。定員の5割未満から8割の充足率である現状が浮き彫りとなっている。介護職に対する誤った報道や誤解を招きかねな

い記事等により、保護者や高校の進路指導担当へのイメージは良いものではない。事実、一部の事業所による不正や質の低い不適切な介護サービスの提供等の問題点もないわけではない。

また、養成校の学生の国家試験受験義務化に対する数度にわたる延期・変更等の大混乱も入学者確保の大きな障壁となっていることも否めない。

介護事業所は、現状を真摯に受け止め、職員の雇用環境のより一層の改善と利用者様に対する充実した介護サービスの提供を行うことにより、地域からの評価を高める努力を続けることが求められる。

また、介護事業所と介護福祉士養成校は、介護に対する正しい理解の普及のために協力して積極的な取り組みを進めていかなければならない。地域住民に対する取り組みはもちろんのこと、特に地域の小学校や中学校の職業教育・福祉教育に充分にかかわるべく努力すべきである。このことが将来の学生確保・介護職員確保につながるものだからである。

養成校は、介護現場で活躍するより質の高い人材養成を続け、学生確保並びに優秀な介護福祉士の供給のために努めなければならない。

日本介護福祉士養成施設協会に加盟している私立短期大学は、専攻科での加盟校を除くと全国でわずか54校となってしまうことを最後に付け加えておく。

その他の（国家資格・免許を必要とする）専門職の雇用形態の状況

専 門 職 名	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
小 学 校 教 諭	125	12	113	9.6%
中 学 校 教 諭	16	2	14	12.5%
養 護 教 諭	111	39	72	35.1%
栄 養 教 諭	7	3	4	42.9%
特別支援学校教諭	1	0	1	0.0%
図 書 館 司 書	38	2	36	5.3%
看 護 師	1,406	1,397	9	99.4%
准 看 護 師	10	10	0	100.0%
臨 床 検 査 技 師	178	163	15	91.6%
理 学 療 法 士	151	150	1	99.3%
診 療 放 射 線 技 師	37	35	2	94.6%
歯 科 衛 生 士	701	688	13	98.1%
歯 科 技 工 士	42	42	0	100.0%
調 理 師	115	108	7	93.9%
製 菓 衛 生 師	110	107	3	97.3%
美 容 師	154	154	0	100.0%
自 動 車 整 備 士	463	463	0	100.0%
作 業 療 法 士	17	17	0	100.0%
柔 道 整 復 師	12	12	0	100.0%
合 計	3,694	3,404	290	92.1%

## その他の専門職の平成26年度の就職・採用活動について 前年度と比較して顕著な変化のあったもの(まとめ)

### ①具体的な変化の内容のまとめ

項目別の主な回答内容は、次のようであった。(回答数順)

#### 【選択肢別】

学生の就労意識 (8)  
その他(求人) (7)  
雇用形態 (6)  
その他 (3)  
処遇 (2)

#### 【専門職別】

図書館司書 (8)  
自動車整備士 (6)  
小学校教諭 (3)  
調理師 (2) 製菓衛生士 (2) 看護師 (2)  
養護教諭 (1) 中学校教諭 (1) 栄養教諭 (1)  
歯科衛生士 (1) 理学療法士 (1)  
歯科技工士・臨床検査技師・美容師 (0)

寄せられた回答では、専門職別には、図書館司書、自動車整備士に関するものが多く、選択肢別には、学生の就労意識、雇用形態、その他(求人)に関する意見が多く寄せられた。

- 「学生の就労意識」に関しては、資格にこだわる学生が増えた、こだわるがゆえに求人が少ないと進路決定も少ない、実習体験を経て意欲が低下、県外・地元を離れて関東圏への就職が増えたなどがあった。「調理師」に一般職への就職者が増えたという地域もあった。「養護教諭」の求人倍率が高くなった半面、学生の就労意欲は低下し就職に結び付いていないことがうかがえた。「看護師」に関しては、県外就職者が大きく増えた、国家試験の結果により就職活動をするという学生が数名いたため例年と比べて就職率が下がったという回答があった。
- 「その他(求人)」に関しては、「自動車整備士」の求人数の増加が目立ち、学生数が対応できていない現実がうかがえた。「理学療法士」の求人数が前年比増、「小学校教諭」の臨時採用が増との回答があった。「図書館司書」の求人が少ない、正規採用がほとんどないことで就職を希望する学生には厳しい状況がうかがえた。
- 「処遇」に関しては、関東圏の「歯科衛生士」の平均給与が年々上昇傾向にあるとの回答があった。
- 「雇用形態」においては、「図書館司書」の正規採用が少ないとの回答が目立ち、「その他(求人)」と併せると、司書希望の学生に対する厳しい就職環境がうかがえた。「製菓衛生士(パティシエ)」においても非正規採用での求人増がうかがえた。

## ②雇用者側の対応に苦慮した事例のまとめ

専門職別の主な回答内容は、次のようであった。(回答数順)

- 図書館司書 (3)、
- 自動車整備士 (2)、
- 養護教諭 (1)、栄養教諭 (1)、歯科衛生士 (1)

### <図書館司書>に関して

- 求人数が限られており、しかも非正規が多いことから学生の希望に対応できなかった。
- 求人数は極めて少なく非正規雇用がメイン。採用の時期も遅い。
- 採用枠が少ないため合格が難しい。

### <自動車整備士>に関して

- 自動車整備士の不足を背景に、採用試験の早期化が続いており、学生が企業研究を十分に行なえないまま受験せざるをえないケースがさらに進んだ。(望ましい状況ではなく改善が必要であると思われる。)
- パワハラに関して、雇用者側と従業員側の認識に違いがあり、結果的に離職した。

### <養護教諭>に関して

- 私立学校においては、看護師や保健師など複数免許を持つことが条件となっている学校もあるため応募することができない場合があった。

### <栄養教諭>に関して

- 採用枠も少ないため合格が難しい。

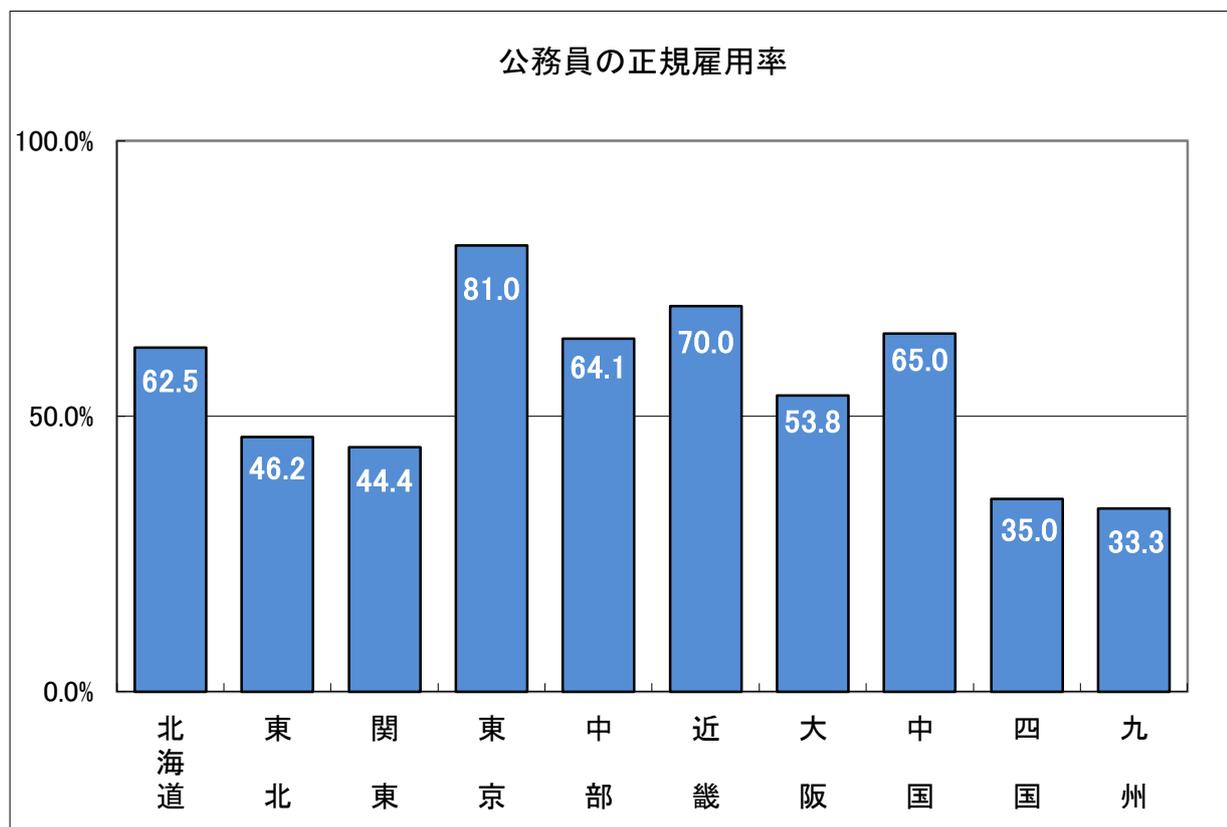
### <歯科衛生士>に関して

- 衛生士を確保するための雇用側の希望と学生側の希望が合わず対応に苦慮した。

## 公務員の地域別雇用形態の状況

	就職 決定者数	正規 雇用者数	非正規 雇用者数	正規 雇用率
北海道	32	20	12	62.5%
東北	13	6	7	46.2%
関東	27	12	15	44.4%
東京	21	17	4	81.0%
中部	39	25	14	64.1%
近畿	30	21	9	70.0%
大阪	13	7	6	53.8%
中国	20	13	7	65.0%
四国	20	7	13	35.0%
九州	18	6	12	33.3%
計	233	134	99	57.5%

注)本公務員は、一般行政職、学校事務職、自衛官、消防士等に就いた者を指します。



## 就職・採用活動時期の後ろ倒しについて (まとめ)

### <設問2>

平成27年度卒業・修了予定者から 就職・採用活動開始時期が変更されたことに伴い、就職支援や採用実態等で変化したことがありますか。具体的にお知らせください。  
また、現時点で企業の対応に関して苦慮していることはありますか。具体的にお知らせください。

#### 1. 就職支援や採用実態等で変化したこと

標記項目について253校から回答が寄せられた。その中でも、「特に変化なし」や「影響なし」は70件であり、その内訳は、ほとんどが幼・保等の専門職の短大であった。

「特に変化なし」や「影響なし」以外の回答内容について検証すると、内容は大きく4つに分類される。

1つ目は『企業の動向』についての回答であり、「採用スケジュールが不透明になった」が最も多く、13件であった。さらに、「採用スケジュールが早まった」7件、「説明会に変わるONE DAYインターンシップ等による早期接触」7件、「採用選考の長期化」6件、「企業の二極化」5件であった。

2つ目は『学生の動向』についての回答であり、「就職活動や意識が鈍化した」が15件あったが、逆に、「学生の意欲が向上した」が6件であった。「学生の就職活動が二極化」したのは6件であった。

3つ目は『短期大学の対策（学生指導等）』についての回答であり、「学生指導を強化した」が11件で最も多かった。また、「ガイダンスなどのイベントをスケジュールにあわせた（後ろ倒した）」が8件あったが、逆に「ガイダンス等を早めた」が5件あった。また、「指導に苦慮している」が5件あり、「学事日程を変更した」は3件であった。

4つ目は企業や学生、短期大学ではないが、「ハローワークによる新卒求人紹介が8月1日からになったことによる弊害について」の記載が13件であった。この回答数からみても、ハローワークが短期大学にとって重要な就職支援の一部となっていることが窺われる。

これらの回答内容から、全体的な印象としては、企業側の混乱による影響への苦言が大多数であるが、採用スケジュールの後ろ倒しにより短期大学にとっては良い影響が出ているという意見も4件あった。

また、専門職の短大では、少数であるが、「早まっている」という記載もあった。

## 2. 企業の対応に苦慮していること

標記項目について、172校から回答が寄せられた。ただし、その中でも、「特に変化なし」や「影響なし」は92件であった。

最も対応に苦慮していることでは、内定企業による囲い込みの激化であり、18件であった。内定学生に「承諾書」、「誓約書」「保証書」等の提出を求め、拘束する動きや、食事会や研修での拘束、「オワハラ」についての記載もあった。また、内定辞退による大学と企業との信頼関係の構築が必要という回答もあった。さらに、この内定者囲い込みの回答で特徴的だったのは、18件のうち中部地域の短期大学が7件を占めていることである。

次に多様な採用スケジュールへの対応に関する苦慮が12件であった。さらに企業採用スケジュールが不透明であることから、大学・学生が情報収集に苦慮しているという回答が8件あった。

なお、少数ではあるが、企業からの説明会参加依頼増など企業からの問い合わせやアプローチ増による混乱という回答もあった。

## 3. まとめ

設問2の各短期大学からの回答をまとめた結果、キーワードは『二極化』といえよう。2016年卒の後ろ倒しのスケジュールがスタートしたことで、企業の採用スケジュールの二極化、各短期大学の支援体制の二極化、学生の就職意欲の二極化が進行しているといえる。後ろ倒しスケジュールの影響については、各短期大学においてある程度予測した上で、対応策を講じていたと思われるが、予測を上回る事態としては、企業側の内定者に対する囲い込みの強化であり、各短期大学がその対応に苦慮している状況が窺える。

また、専門職短期大学の中でも、若干であるが採用動向が「早まっている」と回答している短期大学もあり、今後の状況を注視する必要があるだろう。

最後に、このアンケートの実施時期が2016年卒の就職活動前半の5月であり、就職活動後半戦に向けて、さらには2017年卒以降どのような状況になるのか、研修等のさまざまな機会を通して各短期大学の教職員が情報を共有し、また、多様な業界の方々と積極的に情報交換し、現在の短期大学の置かれた状況を少しでも改善できるように努めていきたい。

日本私立短期大学協会  
就職問題委員会  
(提出締切期日 平成27年5月26日)

短大名	記入者氏名		就職関係部署署名		1 職員のみで構成 2 職員・教員で構成 ※該当する番号を○で囲んでください。	
短大所在都道府県名	電話番号(代表)	就職関係部署直通	TEL	FAX		

\* 記入上の注意をご一読のうえ、貴学の平成26年度卒業生の分野別就職希望者数・決定者数・就職以外の進路者数・卒業者数をご記入ください。 ※本調査対象は、本科第1部(昼間)学科のみで、第2部(夜間)、第3部(昼間2交替制)、専攻科は対象外です。

分野別学科名	1.人文	2.社会	3.教養	4.工業	5.農業	6.保健	7.家政	8.教育	9.芸術	10.その他
当該設置学科名 (出身学科名)  ※専攻分離している場合でも 学科単位(合算して)で記入。 (記入上の注意)の3・4 参照										
就職希望者数	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

就職決定者数 (a)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
自県内就職者数(内数)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

	雇用形態	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	正規雇用	非正規雇用	
		企業・団体																		
公務員 (行政職)																				
(a) 就職決定者数の内訳	幼稚園教諭	公立																		
		私立・民間																		
	保育士	公立																		
		私立・民間																		
	栄養士	公立																		
		私立・民間																		
介護福祉士	公立																			
その他の国家資格を有する専門職 ( ) ( ) ( )																				

↑ (記入上の注意)の「5」4)を参照

就職以外の進路者数	四年制大学への編入学者																		
	短大専攻科への進学者																		
	専修・各種学校等への入学者																		
	一時的な仕事に就いた者																		
その他(上記以外の者)																			
計 (b)	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人

卒業者数 a+b	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
----------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

◎「幼稚園教諭」、「保育士」養成学科を設置している短大におかれては、下記にご回答ください。

\* 専門職「幼稚園教諭」、「保育士」の就職者について、平成27年度より施行された幼保連携型認定こども園に就職したそれぞれの人数

	公立	私立・民間
幼稚園教諭		
保育士		

2

短期大学名		短大所在 都道府県名	
-------	--	---------------	--

設問1 平成26年度の就職・採用活動について、前年度(25年度)と比較して顕著な変化のあったものを選択肢の中から選び、その具体的内容をお知らせください。また、雇用者側の対応に苦慮した事例などありましたらお聞かせください。

企業・団体	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
専門職		
幼稚園教諭	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
保育士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
栄養士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
介護福祉士	①	選択肢: 雇用形態 処遇 求人状況 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
	③	福祉系学科への入学志願者状況の変化について:

その他の国家資格・免許を有する専門職(別紙「記入上の注意」の5. 5)を参照のうえ、専門職名を記入し、内容をご記入ください。)

	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:
	①	選択肢: 雇用形態 処遇 学生の就労意識 その他( ) ※左記の中から該当する項目を○で囲んでください。 具体的な変化の内容:
	②	雇用者側の対応に苦慮した事例:

設問2 平成27年度卒業・修了予定者から就職・採用活動開始時期が変更されたことに伴い、就職支援や採用実態等で変化したことがありますか。具体的にお知らせください。

また、現時点で、企業の対応に関して苦慮していることはありますか。具体的にお知らせください。

\*\*\*ご回答ありがとうございました。お手数ですが、調査票の1部を重ねて(留めずに)、来る5月26日までに郵送にてご返送ください。

分野別学科一覧

(26年度卒業生用)

① 人文関係	② 社会関係	③ 教養関係	⑥ 保健関係
英語(学)科 英語英文(学)科 英語コミュニケーション学科 英文(学)科 英米語学科 英米文化学科 キャリア英語科(夜間) 言語コミュニケーション学科 言語文化学科 言語文化情報学科 現代コミュニケーション学科 現代文化学科 国際コミュニケーション(学)科 国際文化学科 国際文化交流学科 国文(学)科 禅・人間学科 総合コミュニケーション学科 総合人間学科 日本語コミュニケーション学科 日本語日本文学科 日本語表現科 日本語文化学科 日本史学科 人間関係学科 人間コミュニティ学科 人間文化学科 表現学科 仏教(学)科 文(学)科 文化学科 文化芸術学科 文化コミュニケーション学科 文化創造学科 文化表現学科 歴史文化学科 ことばの芸術学科 英語キャリア科 実践コミュニケーション学科 創造文化学科 日本文化学科 表現文化科 キャリアコミュニケーション学科 英語キャリアコミュニケーション学科 外国語文化学科 言語文化コミュニケーション科 コミュニケーション学科	運輸科 介護福祉(学)科 観光学科 経営(学)科 経営会計学科 経営経済科 経営実務科 経営情報(学)科 経営情報実務学科 経営福祉学科 経済(学)科 健康栄養学科 健康福祉学科 現代介護福祉学科 現代ビジネス学科 子ども福祉学科 社会福祉(学)科 商(学)科 商経(学)科 商経社会総合学科 児童福祉学科 情報学科 情報コミュニティ学科 情報ビジネス(学)科 情報文化学科 総合ビジネス(学)科 地域創造学科 人間介護福祉学科 人間福祉学科 能率科 秘書科 ビジネス学科 ビジネスキャリア学科 ビジネス(・)コミュニケーション(学)科 ビジネス実務学科 ビジネス社会学科 ビジネス情報学科 ビジネス総合学科 ビジネスライフ学科 美容福祉学科 福祉学科 保育福祉学科 法学科 人間健康福祉学科 オフィス人材育成学科 人間教育学科 キャリアデザイン学科 キャリア育成学科 ビジネス教養学科 広報学科 現代タウンビジネス学科 経済情報学科 情報コミュニティ学科 ライフマネジメント学科	キャリア教養学科 教養学科 現代教養学科 国際教養学科 総合教養学科  ④ 工業関係 機械工学科 自動車工学科 自動車工業(学)科 情報処理科 情報処理工学科 情報メディア学科 電気電子工学科 モータースポーツエンジニアリング学科 国際自動車工学科 建築・生活デザイン学科 生命・物質化学科 ものづくり・サイエンス総合学科 ものづくり創造学科 応用化学科 基礎工学科 建設学科 システムデザイン工学科  ⑤ 農業関係 園芸科 環境農学科 環境緑地学科 醸造学科 生物資源学科 生物生産技術学科 包装食品工学科 みどりの総合科学科 緑地環境学科 動物看護学科 酪農学科	医療衛生学科 看護(学)科 口腔保健学科 歯科衛生(学)科 歯科衛生士学科 歯科技工学科 歯科技工士学科 放射線技術科 保健科 保健福祉学科 ライフケア学科 リハビリテーション学科 臨床検査(学)科 人間健康学科 医療秘書学科 こども健康学科 美容保健学科

⑦ 家政関係	⑧ 教育関係	⑨ 芸術関係	⑩ その他
栄養(学)科	医療保育科	アート・デザイン学科	キャリア開発学科
栄養健康学科	健康(・)スポーツ学科	音楽(学)科	キャリア開発総合学科
家政(学)科	健康スポーツコミュニケーション学科	音楽総合科	キャリア・コミュニケーション学科
環境文化学科	現代幼児学科	芸術(学)科	キャリアデザイン学科
健康栄養学科	子(こ)ども学科	芸術教養学科	キャリアプランニング科
健康生活学科	子(こ)ども教育学科	芸術表現学科	キャリア創造学科
現代生活学科	こども保育学科	造形学科	経営総合学科
食生活学科	初等教育(学)科	造形芸術学科	現代総合学科
食物(学)科	児童教育(学)科	造形美術科	コミュニティ子ども学科
食物栄養(学)科	児童総合学科	デザイン美術(学)科	コミュニティ生活学科
製菓学科	総合保育学科	メディア・芸術学科	コミュニティ総合学科
生活(学)科	体育(学)科	表現芸術学科	コミュニティ文化学科
調理製菓学科	地域こども学科	美術(学)科	生活デザイン総合学科
生活科学(学)科	地域保育学科	美容芸術学科	総合キャリア教育学科
生活環境学科	保育(学)科	美容ファッションビジネス学科	総合文化学科
生活芸術科	保育創造学科	メディア・プロモーション学科	地域総合科学科
生活創造学科	保健体育学科	美容総合学科	地域総合文化学科
生活総合学科	養護教育学科	美術・デザイン学科	人間総合学科
生活造形学科	幼児教育(学)科		ライフデザイン総合学科
生活デザイン学科	幼児教育(・)保育(学)科		ライフプランニング総合学科
生活ナビゲーション学科	幼児・児童教育学科		
生活福祉(学)科	幼児保育学科		
生活福祉情報科	子ども健康学科		
生活文化(学)科			
生活プロデュース学科			
生活未来学科			
総合生活学科			
総合生活デザイン学科			
人間健康科			
人間生活学科			
美容生活文化学科			
ファッション総合学科			
服飾学科			
服飾芸術科			
服装学科			
フードデザイン学科			
ヘルスクエア栄養学科			
ライフデザイン学科			
生活コミュニケーション学科			
生活実践科学科			
総合生活キャリア学科			
被服科			
服飾美術(学)科			

◎ 本分野別学科一覧は、全国短期大学一覧（文部科学省）により編集したものです。

◎ 昨年度の調査時より、分野が変更になっている学科があります。必ずご確認ください。

## 〈調査票1への記入上の注意〉

下記の内容をご確認のうえ、ご記入ください。

1. 各項目・各分野における人数は、平成27年5月1日現在の本科 **第1部(昼間部)** の状況をご記入ください。 **専攻科は対象外です。**
2. 分野別学科名については、同封別紙「分野別学科一覧」表を参照してください。
3. 当該設置学科名については、卒業生の出身学科名をご記入(タテ書きでも結構です。)ください。(学科名称のみで、専攻名は不要。)
4. 各欄に記入する人数は、同一分野で2学科以上を開設している場合、その合計数をご記入ください。  
(例: 食物栄養科と生活科学科を開設の場合は、「家政」欄の「当該設置学科名」欄にそれぞれの名称を記入し、以下の欄に合計人数を記入。)  
また、1つの学科に複数の専攻を開設している場合は、当該学科の分野を確認し、すべての専攻の人数を合計してご記入ください。  
(例: 生活学科に食物栄養専攻、介護福祉専攻、幼児教育専攻を開設している場合、「家政」欄に学科名称を記入し、以下の欄に3専攻の合計人数を記入。)
5. 各分野別の就職決定者数 (a) の内訳として、企業・団体、公務員 (行政職)、専門職の別に、正規雇用/非正規雇用の人数をご記入ください。  
注 1) 「公務員(行政職)」欄には、一般行政職、公立学校事務、消防士、自衛官、警察官等の職に就いた者の人数をご記入ください。  
なお、幼稚園教諭、保育士、栄養士、介護福祉士の専門職免許・資格を活かして、公立の機関に就職した場合は、各専門職の公立の欄にご記入ください。  
2) 専門職については、資格を生かして就職した人数をご記入ください。  
専門職の有資格者であっても、資格を生かした職業に就いていない場合は、雇用主の状況に応じて、企業・団体もしくは公務員欄にご記入ください。  
また、例えば、保育士として企業・団体に就職した場合は、専門職・保育士の私立・民間の欄にご記入ください。  
3) 介護福祉士以外の介護・福祉に関する専門職として、介護員や支援員などの名目で、介護施設や福祉施設に就職した場合は、企業・団体の欄に含めて記入してください。  
4) その他の専門職とは、国家資格を必要とする職業《小学校教諭、中学校教諭、養護教諭、栄養教諭、特別支援学校教諭、図書館司書、司書補、看護師、准看護師、臨床検査技師、臨床工学技師、理学療法士、診療放射線技師、歯科衛生士、歯科技工士、美容師、調理師、製菓衛生師、自動車整備士》等を示します。( )内に具体的職名を記して、当該人数をご記入ください。  
5) 短期大学では取得できない国家資格・免許を有する者が貴学に入学者、就職する際、すでに取得していた資格を生かして就職した場合には、雇用主の状況に応じて、企業・団体もしくは公務員欄にご記入ください。
6. 自県内就職者数は、就職決定者(a)のうち、貴短期大学が所在する都道府県内において就職した人数をご記入ください。  
なお、就職地が不明の場合は、採用された雇用主の所在地により判断してください。
7. 非正規雇用は、派遣社員・契約社員・臨時採用等で、雇用期間が一年以上(一年未満であっても、継続により1年以上雇用されることが確実な者を含みます。)であり、かつ勤務形態が正社員に準ずるもの的人数をご記入ください。
8. 就職以外の進路者数の中の「一時的な仕事に就いた者」とは、主にアルバイト・パートの臨時的な収入を目的とする仕事に就いた者をいいます。  
なお、派遣社員・契約社員などでも、契約内容が不明な場合には、この欄にご記入ください。
9. 「その他」は、どの項目にも該当しない者(就職未決定者、進路未決定者を含む)の人数をご記入ください。
10. 卒業者数は、就職決定者数の合計 (a) と就職以外の進路者数等の合計 (b) を足し合わせた数になります。

### 〈お願い〉

○調査票 **1** の集計に際し、不明な点が確認された場合には、ご記入いただいた方あてにお問合せをさせていただくことがありますので、ご協力くださいますようお願いいたします。(回答票の控え(コピー)を残していただければ幸いです。)

○お手数をおかけいたしますが、本調査票の **1** と **2** を重ねて(留めずに)、来る5月26日 までに郵送にてご返送ください。

(送付先: 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 日本私立短期大学協会「就職問題委員会」係)

## 就職問題委員会委員一覧

日本私立短期大学協会  
(平成27年4月現在)

委員長	内田 鉄 一	東北文教大学短期大学部 理事長
副委員長	高田 茂	千葉敬愛短期大学 キャリアセンター長
委員	加賀谷 晴 美	札幌大学女子短期大学部 学生支援オフィス係員
〃	柿崎 雅 美	青森中央短期大学 キャリア支援センター員
〃	梅山 文 秀	群馬医療福祉大学短期大学部 事務長
〃	菊入 哲 夫	聖徳大学短期大学部 キャリア支援課長
〃	小倉 定 枝	千葉経済大学短期大学部 准教授
〃	岩井 絹 江	東京家政大学短期大学部 学長補佐
〃	吉田 和 代	文化学園大学短期大学部 就職相談室長
〃	池村 え み	目白大学短期大学部 就職支援部就職指導課長
〃	加藤 博	金城大学短期大学部 法人本部長
〃	北川 裕 樹	北陸学院大学短期大学部 学生支援課長代理
〃	藤岡 弘 樹	関西外国語大学短期大学部 キャリアセンター主任
〃	松本 全 弘	武庫川女子大学短期大学部 キャリアセンター次長
〃	柴田 道 弘	山口短期大学 准教授
〃	澤田 小百合	九州女子短期大学 学生支援課長
〃	姫野 隆 行	西南女学院大学短期大学部 就職課長

(順不同・敬称略)

